



125
周年

私たちの物語

目次

1	会長メッセージ
5	2022年財務実績の概要
6	125周年を迎えて
16	今年の振り返り
21	私たちのコミュニティ
25	私たちの行員
29	顧客プロフィール
50	2022年財務報告
52	株価の相対的パフォーマンス
54	エグゼクティブコミッティおよびオペレーティングコミッティ
56	取締役会
57	株主情報

表紙

『カヌー・ビルダーズ』 Lee Lawrie作、1927年

表紙に使用された作品の詳細については、
本報告書の53ページに記載されています。

© 2023年、バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション。バンク・オブ・ハワイ®は登録商標です。BankLanai®, Bankoh®, EASE by Bank of Hawaii®, SimpliFi®, SimpliFi Arena®, SimpliFi Mortgage®は、バンク・オブ・ハワイの登録サービスマークです。バンク・オブ・ハワイのロゴおよびバンク・オブ・ハワイは登録商標です。Bankoh Investment Services, Inc.はバンク・オブ・ハワイのノンバンク子会社で、米金融取引業規制機構 (FINRA) および米証券投資者保護公社 (SIPC) の会員です。Zelle®は、Early Warning Services, LLC.の登録サービスマークです。本報告書 (印刷物およびオンライン) に記載されているその他すべての商標およびサービスマークはそれぞれの所有者に帰属し、本報告書で使用するにより所有権を主張するものではありません。個人や本報告書に記載するその他の登録商標、ロゴ、ブランドまたはその他の名称もしくは由来の所有者は、本出版物を後援、承認、支持していません。



株主の皆様、

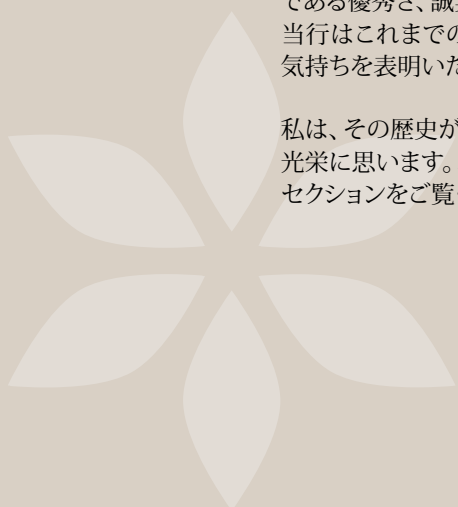
2022年12月、バンク・オブ・ハワイは125周年という大きな節目を迎えました。当行は、新たにできたハワイ共和国において友人である3人の実業家によって1897年に設立されました。彼らは、ハワイや当行の将来がこんなに大きく変わるとは予想していなかったでしょう。

本年次報告書では、設立以来の当行の成長や、素晴らしかった125周年を振り返り、また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックという100年に1度の困難な状況にあたって実施した継続的な対応や、当行が提供した重要な支援について考えていきたいと思えます。

当行は保守的な財務手法をとっており、慎重なリスク管理を誇りますが、それに人材やデジタルへの投資が加わったことで、困難な状況に対応し、新たな機会を生み出すのに必要な力を得ることができました。その結果、当行は急速な変化に対応し、お客様に新たな方法でサービスを提供しつつ、お客様にとってパーソナル化されたサービスを維持することができたと考えています。当行は125年にわたって、その行員、お客様、コミュニティとの強固な関係、環境の持続可能性、イノベーションを中心に強固な基盤を築いてきました。

また、当行が125周年を迎えることができたのは、当行の強力なブランドや、当行が実現する価値である優秀さ、誠実さ、尊敬、イノベーション、コミットメント、そしてチームワークによるものです。当行はこれまでの125年間、当行を支援してくださった関係者の皆様すべてに変わらぬ感謝の気持ちを表明いたします。

私は、その歴史がハワイの歴史の一部であるこのような特別な会社を経営する一人であることを光栄に思います。バンク・オブ・ハワイが歩んできた125年間の詳細については、本報告書の特別セクションをご覧ください。



財務は引き続き健全

当行は2022年、その戦略的なイニシアティブを大きく進捗させ、その結果、絶え間ない長期的成長に向けた準備が整いました。バンク・オブ・ハワイの2022年度財務業績は強固なものでした。また、2022年は優良コア・マーケットであるローン業務が成長、受取利息純額と利ざやが引き続き拡大しました。資産の質、資本、流動性も年末時点で健全でした。

2022年度通期の希薄化後1株当たり利益は、2021年度通期の6.25ドルに対して5.48ドルでした。当期純利益は2億2,580万ドルで、前年比10.9%減少しました。金利の上昇にもかかわらず、ローンは引き続き増加、前年比11.3%増の136億ドルとなりました。また、年度末時点の預金合計は、前年比1.3%増の206億ドルでした。

当行は2022年、その行員の努力のため、以下の通り、評価されています。

- ニュースウィーク誌は、バンク・オブ・ハワイを「米国で最も信頼される会社」銀行部門の3位に選ばれました。当行は、同リストで挙げられたハワイで唯一の企業です。
- 以下の雑誌の読者は、バンク・オブ・ハワイを「ハワイのベストバンク」に選びました。

ホノルル・スターアドバタイザーズ
(12年連続)

ハワイ・トリビューンヘラルド
(7年連続)

ウェスト・ハワイ・トゥデイ
(3年連続)

ザ・ガーデン・アイランド

- バンク・オブ・ハワイは、ジュニア・アチーブメントUSAによる2021-22年度米国大統領ボランティア・サービス賞銅賞を受賞しました。

- また、バンク・オブ・ハワイは、ムーディーズの長期預金格付けAa3、ベアスライン信用リスク評価格付けa2を維持しています(2022年12月時点)。

ハワイ経済の回復は続く

ハワイ州の経済状況は訪問者数の回復のために改善しています。2022年のハワイ訪問者数は、まだパンデミック前の水準には届きませんでした。その水準に近づきつつあります。訪問者数は、2021年の677万7,760人に対して、36.4%増の924万7,848人となりました。訪問者のハワイでの支出は192億9,000万ドルまで増加しました。長く待たれていたこのような国際旅行者の回復はハワイ産業の回復を促すと考えられます。ハワイ州産業経済開発観光局(DBEDT)は、2023年のハワイ訪問者数は2022年から6.5%増加、訪問者のハワイでの支出は同7.1%増加すると予想しています。

ハワイでは失業率も改善しています。DBEDTによると、ハワイの失業率は、2021年末の4.3%に対して2022年12月時点で3.2%でした。ちなみに、同時期の全米失業率は3.5%でした。過去を振り返ると、ハワイの失業率は2020年4月に22.4%と過去最高を、2017年9月に1.9%と過去最低を記録しています。パンデミックの開始後に雇用市場を離れた多くの労働者がまだ職場に戻っていないため、ハワイの雇用市場はまだひっ迫しています。

ハワイの住宅価格は2022年の夏、急騰しました。ハワイの一戸建て住宅価格は5月に過去最高を更新、その価格中央値は115万3,500ドルでした。一方、コンドミニアムの価格中央値も過去最高の53万4,000ドルに達しました。ハワイの住宅市場はまだ安定していますが、住宅販売数は、在庫の不足と住宅金利の上昇のために減速、価格はわずかに低下しているものの、まだ前年を大きく上回っています。一戸建て住宅の価格中央値

は、オアフ島で11.6%増の110万5,000ドル、マウイ島で11.1%増の110万5,000ドル、カウアイ島で7.3%増の118万ドル、ハワイ島で4.8%増の50万ドルでした。コンドミニアムの価格中央値は、オアフ島で7.4%増の51万ドル、マウイ島で19.2%増の77万5,000ドル、カウアイ島で16.4%増の71万2,500ドル、ハワイ島で19.8%増の57万5,000ドルでした。

行員の成功と幸福を優先

バンク・オブ・ハワイが成功した鍵となる要因の一つは、常に一丸となって有意義な関係を築こうとする当行の行員でした。当行の行員の幸福に資するための継続的な投資は、行員の医療・健康をサポートする様々な給付や、個人の能力や専門性の開発・教育の機会を提供することです。

パンデミックが引き起こした困難な状況の中、バンク・オブ・ハワイは、その行員を支援するために5%の賃上げを発表しました。能力給の2.5%引き上げと、初めて実施する1回限りの2.5%のインフレ調整手当です。賃上げは2022年4月1日に実施されました。

また、休暇をより柔軟なものとするために、休暇、移動祝日、記念日休暇、扶養者ケア休暇などを、2023年から一つの有給休暇に統合する計画を発表しました。また、行員の休暇発生ペースは速くなり、翌年に繰り越すことができる休暇日数が増加しました。

行員の教育を支援するため、当行の大学支援プログラム(CAP)では、これまで大学学位をもっておらず今後学位を取得することを望む行員に授業料全額を支給しています。同プログラムは2016年に最初3名の参加で開始して以降、大きな成功を収めています。2022年5月に卒業した直近のクラスでは、これまでで最多の7名の行員がホノルルのシャミナード大学の学士号を取得しました。現在まで

に、16名の行員が学位を取得しており、現在、30名の行員が2022年秋学期に登録しています。

また、バンク・オブ・ハワイ財団スカラーシップを通して、行員の子供や孫が高等教育を受ける夢も支援しています。2022年、25名の奨学生が同奨学金基金から合計8万5,750ドル支給されました。奨学金プログラムは2014年に創設されたもので、ハワイ・コミュニティ財団によって運営されています。それ以降、バンク・オブ・ハワイ財団は、251名の大学奨学生に87万6,750ドルを支給しました。

顧客体験 (CX) を強化

デジタル・バンキングの選択肢はかつてなく多く、当行は、お客様が彼らに最もふさわしい様々な便利なサービスを望んでいることを認識しています。当行の「ランチ・オブ・トゥモロー」は、柔軟な取引関係と必要に応じた専門サービスを提供するための重要な基盤です。

2022年、ハワイ島の当行が数十年間サービスを提供してきたコミュニティに2カ所のランチ・オブ・トゥモローが新たに開設されました。8月8日に開設したワイメア支店は60年を超える期間そのコミュニティに存在、9月26日に開設したヒロ支店は1世紀を超える期間、地域の一部でした。

2022年、当行のデジタル・バンキング・プラットフォームであるSimpliFiを強化し、お客様が事前に承認されたローンを安全に引き出し、その預金口座ですぐに代わり金を受領することができるようになりました。この新たなサービスは人気を博し、オンラインで実行する個人向け貸付はすぐに増加しました。

当行の判断は、当行が絶えず向上することを可能にするお客様からの直接のフィードバックに基づいています。例えば、当行は2022年、1万6,000人のお客様に対して調査を実施、回答を得ました。

以前実施したフィードバックは「バンク・バイ・アポイントメント」を生み出すきっかけとなりました。同サービスはパンデミックの初期に始まったもので、特定の時と場所で支店に接触し、お客様に向けてパーソナリゼされたサービスを受けることを可能にするものです。パンデミックによる規制が緩和された後も、この機能はお客様にとって魅力的なものであり、予約は2021年の2万5,000件に対して6万件超と2倍以上に増加しました。

コミュニティへのコミットメント

バンク・オブ・ハワイのコミュニティを大切にすることへのコミットメントは、当行が会社としてどうあるべきかの基本です。それは誰にとってもより良い未来を生み出す責任であり、機会であると考えています。スポンサーシップ、助成金、実地のボランティア活動などを通して、当行は他にはない創造的なパートナーシップを目指しています。

当行の最優先事項は、ハワイのワーキングプア問題を解決するために、同問題に関する認識を高め、それを対象とする取り組みを支援することです。当行は2018年、アロハ・ユナイテッド・ウェイ (AUW) のALICE報告書発行のスポンサーとなりました。ALICEは「限られた資産、制約された収入、職についている」の略語で、収入が米連邦政府の貧困ラインを上回っているために多くの公的支援プログラムを受けることができず、働いているものの、自給自足するための基本的な必需品を購入できない人とその家族を意味します

2022年、バンク・オブ・ハワイ財団は、最新の報告書『ハワイのALICE：2022年の事実および数値』公表のスポンサーシップとして9万7,500ドルを寄付しました。同報告書は12月に公表されましたが、パンデミックとインフレの影響に関してハワイ州全体のデータが記載されています。予想はされていましたが、

結果は残念なもので、ハワイのALICE基準を下回る世帯は2022年、2019年の9%から15%に増加するなど、その内容は驚くべきものでした。同報告書は、www.auw.org/alice-initiativeで入手可能です。

また、当行は、ALICEコホート・イニシアティブを継続的に支援しています。同イニシアティブには、ALICE世帯の財務・社会的安定性を高めるためのリソースを共有し、協力する非営利のパートナーが参加しています。2020-2024年ALICEコホート・イニシアティブには、特に公益プログラム、職業訓練、キャリア開発の機会を増やすことに取り組む17の非営利団体が参加しています。彼らは、家計が必要とするコストの削減や、マッチング・セービング・プログラムの開発、融資を受けやすくすること、手頃な価格の住宅の建設にも取り組んでいます。

2022年、バンク・オブ・ハワイ財団は、当行の125周年を記念する特別なイニシアティブなど、コミュニティの支援のために220万ドル超を提供しました。当行は、その125周年について、会社のマイルストーンのお祝い以上のものすることを望みました。また、関係者の皆様に感謝の念を伝えたいと考えました。当行の定期的な寄付に加えて、2,000人を超える当行行員がそれぞれ、バンク・オブ・ハワイ財団から125ドルの寄付金を受け取る非営利団体を選ぶことになりました。また、長期的な環境の持続可能性を進めるために、当行は年間を通して毎週125本植樹し、また環境保護に取り組んでいる非営利団体に助成金を提供しました。それら2つの取り組みでハワイと西太平洋地域の非営利団体に提供された額は、合計で約34万5,000ドルに上ります。

当行は、当行行員が主導する取り組み、リブ・ココア・ギビング・キャンペーンで2022年を締めくくりました。今年秋に実施された同キャンペーンでは、アロハ・ユナイテッド・ウェイ (AUW) のパート

ナーである325の非営利団体を支援するために、当行のオハナ(家族)から56万9,717ドルが集まりました。リブ・コクア・ギビング・キャンペーンは2010年の開始以降、地元の非営利団体のために750万ドル超を集めています。

当行は2年前、ハワイ大学(UH)学生アスリート8名とのユニークな支援パートナーシップを発表しました。2022~23年シーズンには、同パートナーシップを42名の学生アスリートに拡大しました。代表的なアスリートは、男女バスケットボールとバレーボールの選手です。SimpliFiアスリートと呼ばれる彼らは、当行のプログラムやイニシアティブを進め、コミュニティ全体に善意を広げるための大使を務めています。

地元企業を支援

私たちのコミュニティに属する中小企業を支援することは常に当行にとって重要なことです。当行は2022年、マナアップと新たに立ち上げたプログラムを通して地元の経済成長や多様化の機会への投資を進めました。

マナアップは、ハワイの商品を普及させるアクセラレーター・ベンチャーファンドで、そのミッションは商品の「水準を引き上げる」こと、あるいは世界中でその市場を拡大するのを支援することです。マナアップのビジョンは地元経済を発展させ、地元の人々のために給料が高く、面白い仕事を創り出すことです。その目標は、年間売上高が1,000万ドルを超えるハワイの「ネクスト100商品企業」を創り出すことです。当行はマナアップの銀行パートナーであり、その年次アクセラレーター・プログラムを支援しています。また、地元の企業家を次の水準に引き上げるためのエグゼクティブ・メンターシップ・トレーニング・プログラムを共同で作成しました。

多様性、公平性、包摂性、そして帰属性

当行行員の多様性は、望ましい視点を持ち込み、当行のチームワークを強化し、コミュニティとの有益な関係をもたらすものです。当行行員は、多様性、公平性、包摂性、帰属性を支援する活動に熱心に参加しており、コミュニティでの奉仕活動もしばしば行っています。

以下は、2022年のハイライトの一部です。

- 当行では、ハワイ先住民の歴史、文化、言語の理解を広める最新の行員リソース・グループ(ERG)が創設されました。
- 当行の「ウィメン・インスパイアード」グループは、非営利の「マイ・ムーブメント(Ma'i Movement)」と提携して、生理ケア・キットを集め、またハワイで女性の4人に1人が生理の貧困を経験する問題に取り組んでいます。
- 当行は、2022年ホノルル・プライド・パレード&フェスティバルのビジョナリー・スポンサーを務めました。これで4年連続となります。また、当行のRainBOHボランティアが当日、パレードに参加しました。
- 当行の軍ERG、ブルーブリゲートは、同グループがホノルル・ハビタット・フォー・ヒューマニティとともに建設を支援した家に退役軍人とその家族が入居するのをお祝いしました。

新たなエグゼクティブ

当行は2022年1月、Marco A. Abbruzzeseを当行の副会長兼ウェルス・マネジメント担当シニア・エグゼクティブ・ディレクターとして迎え入れました。彼は、当行の信託サービス・グループのウェルス・マネジメント、投資サービス、プライベート・バンク業務を担当します。また、当行のエグゼクティブ・コミティのメンバーも務めます。彼はウェルス・マネジメント

の分野で30年を超える経験を有しており、リーダーシップを発揮してくれることを期待しています。

11月、Matthew Emersonが当行のシニア・エグゼクティブ・バイスプレジデントから副会長に昇進しました。彼は引き続きリテール融資、預金、デジタル・バンキング業務を担当します。彼は2010年に当行に入社、オンラインおよびモバイル・バンキング、Eコマースとデジタル・チャンネル、商品管理、投資サービスなど、様々な分野でその専門知識を提供してきました。彼の長年の経験と当行への貢献から、彼は当行経営陣にとって価値あるメンバーであり、今回の昇進にふさわしいと考えています。

おわりに

バンク・オブ・ハワイの125周年を迎えて、その成功に参与してきたすべての人々に心からの感謝を伝えたいと思います。過去および現在の当行行員の皆さん、当行のお客様にサービスを提供するにあたっての皆さんの献身とコミットメントに感謝します。当行のお客様、当行に皆様の人生で最も重要な多くの決定を委ねてくださったことに感謝します。太平洋地域全体のコミュニティに感謝します。すべての人々を継続的に成長させてきた協力的なパートナーシップを活用できたことは幸運でした。そして、株主の皆様のバンク・オブ・ハワイに対する信頼と支援に感謝します。

これまでの125年間について感謝したいと思います。

心より感謝の意を込めて。



PETER S. HO
会長、社長兼CEO

2022年の財務実績の概要

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよびその子会社(1株当たりの額を除き、千ドル)

12月31日終了年度	2022年		2021年	
収益のハイライトと業績比率				
当期純利益	\$	225,804	\$	253,372
基本1株当たり利益		5.50		6.29
希薄化後1株当たり利益		5.48		6.25
宣言済み1株当たり配当		2.80		2.74
純利益/平均総資産 (ROA)		0.98%		1.14%
純利益/平均株主資本 (ROE)		16.10%		16.94%
純利益/平均普通株主資本 (ROCE)		17.83%		17.92%
純預貸利ざや ¹		2.50%		2.36%
効率性比率 ²		59.49%		58.86%
普通株式1株の市場価格:				
終値	\$	77.56	\$	83.76
高値		92.38		99.10
安値		70.15		75.65

12月31日現在

財政状態のハイライトと業績比率				
貸出金とリース債権	\$	13,646,420	\$	12,259,076
資産合計		23,606,877		22,784,941
合計預り金		20,615,696		20,360,108
その他負債		410,294		10,391
株主資本合計		1,316,995		1,611,611
普通株1株当たり純資産	\$	28.54	\$	35.57
未払い貸出金とリース債権の引当金		1.06%		1.29%
専従換算社員数		2,076		2,056
支店とオフィス		51		54

12月31日終了四半期

収益のハイライトおよび業績指標				
当期純利益	\$	61,307	\$	63,837
基本1株当たり利益		1.51		1.56
希薄化後1株当たり利益		1.50		1.55
純利益/平均総資産 (ROA)		1.05%		1.12%
純利益/平均株主資本 (ROE)		18.91%		15.92%
純利益/平均普通株主資本 (ROCE)		21.28%		17.40%
純利息マージン ¹		2.60%		2.34%
効率性比率 ²		56.46%		60.18%

¹ 純利息マージンは、受取利息純額(課税ベース)が平均収益資産に占める比率と定義されます。

² 効率性比率は、非利息費用を総収入(純受取利息と非利息収入の合計)で除した数値と定義されます。

125周年を迎えて

3人の友人がハワイで最も新しい銀行を創立した1897年以降、世界は大きく変わりました。しかし、バンク・オブ・ハワイが特別なものである理由は変わりません。当行の行員、お客様、株主、そして私たちのホームであるハワイの幸福のために投資することに対する当行のコミットメントが、当行が何者であるかの基本です。

当行の方針は、前進し続ける一方で、そのビジョンや価値に対して忠実であり続けることです。当行の創設者であるPeter Cushman Jones、Charles Montague Cooke、Joseph Ballard Athertonは、デジタル・バンキングという今日の環境を想像できなかったかもしれません。しかし、彼らが、サービスと、優秀さ、誠実さ、尊敬、イノベーション、コミットメント、チームワークという基本的な価値である彼らの遺産が今日も私たちを導いていると認めることは間違いないと考えています。

当行は前進し続けますが、その125周年は、当行の歴史を振り返り、その成果やマイルストーンを祝ういい機会であると考えています。

沿革

1897年

12月17日

バンク・オブ・ハワイ・リミテッドが、ハワイ共和国で営業する最初の認可法人銀行になりました。同行は、Peter Cushman Jones、Charles Montague Cooke、Joseph Ballard Athertonによって創設されました。



1903年

7月1日

最初の支店がカウアイ島のリフエに開設されました。同支店は1912年に改築され、その後長年にわたって何度もリノベーションされました。リフエ支店は現在、ハワイで最古の銀行支店です。



1931年

11月27日

銀行名が正式にバンク・オブ・ハワイに変更されました。



1946年

バンク・オブ・ハワイは、ハワイの銀行で初めて個人貸出部門を設置しました。



1800年代

1900年代

1897年

12月17日

当行は、資本金40万ドルで、ホノルルのダウンタウンに建つ木造建物に事務所を開設しました。最初の顧客はキャッスル&クック・リミテッドで、同社は当座預金口座を開設しました。



1928年

5月1日

当行のホノルル・ダウンタウン本社でハワイ初のレイデーが祝われました。同イベントはレイデーの女王とその臣下を称えるもので、ハワイの王族が審査員を務めるレイ作り競争が開催されました。



1942年

第二次世界大戦中、バンク・オブ・ハワイは米国海軍の公式の太平洋地域受託機関に指定されました。



沿革

1961年

グアム議会の要請を受けて、バンク・オブ・ハワイはグアムに事業を拡大しました。またパラウにも事業を拡大、10年後にはサイパンでサービスを開始しました。



1976年

バンク・オブ・ハワイはデビットカードを導入しました。お客様は初めて、小切手を振り出さずに商品を買ひ、当座預金口座から現金を引き出すことができるようになりました。



1982年

ほとんどの買い物現金で行われていた時代に、バンク・オブ・ハワイは地元銀行で初めて支店外ATMを稼働させました。その3年後、バンク・オブ・ハワイは地元金融機関で初めて店舗内ATMを設置しました。

1993年

当行は、新たに設立された法人資金管理会社である「パシフィック・キャピタル・マネジメント」を含む、新たな「投資および信託サービスグループ」を設立しました。

1900年代

1966年

シニア・バイスプレジデントのWilson P. Cannon, Jr.が、行員に金曜日にはスーツとタイではなくアロハシャツを着ることを奨励、アロハ・フライデーの伝統が始まりました。



1981年

助成金、スポンサーシップ、地元非営利団体との提携を通して慈善活動に資金を提供するバンク・オブ・ハワイ財団が創設されました。

1991年

「バンコプ・ハワイ・インク」(ティックカー：BOH) がニューヨーク株式取引所で取引されるようになりました。また、フルサービスの証券仲介会社、「バンコプ・インベストメント・グループ」の設立も認可されました。



1994年

新規出店したセーフウェイ・ワイパフ・インスタア支店がハワイでインスタア・バンキングを導入しました。下の写真のカイルア支店など、インスタア支店は他の場所でもすぐに開設されました。



1997年

バンク・オブ・ハワイは100周年を祝って、バンコ-第2回センチュリー奨学生プログラムを通して**地元高校生100人の将来のために500万ドルを投資**しました。低中所得世帯の生徒が課外大学プレップ・アシスタンスを受けました。当行は彼らの学士号取得についても資金を提供しました。

2007年

バンク・オブ・ハワイは、携帯電話でインターネット接続できるお客様向けにハワイ州で初の**ワイヤレス・バンキング・サービス**を導入しました。それによって、バンク・オブ・ハワイがハワイ州の有力金融機関としては初めてiPhoneアプリを開始する基盤ができました。

バンク・オブ・ハワイは、**HUD 184Aネイティブ・ハワイアン住宅ローン保証プログラム**を導入しました。現在でも、バンク・オブ・ハワイは、ハワイに拠点を置く、ハワイ先住民保留地局 (DHHL) ローンを提供する唯一の融資機関です。

2011年

バンク・オブ・ハワイ財団は、全米初、州全体で活動する唯一の学生ニュース番組およびデジタルメディア学習イニシアティブ、放送局の**PBSハワイが開始したHIKI NŌ**の創立スポンサーになりました。スポンサーシップは現在も続いています。

2014年

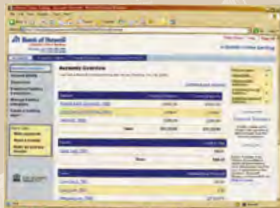
バンク・オブ・ハワイ財団の「行員の大学を目指す子および孫のための奨学金」が開始、26件の奨学金が支給されました。これまでに251件87万6,750ドルの奨学金が支給されています。



2000年代

1998年

eBankohウェブサイトを開始、バンク・オブ・ハワイはオンライン・バンキングを提供するハワイ州で最初の銀行となりました。



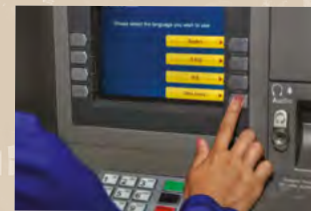
2010年

第1回行員ギビング・キャンペーンでは、行員に選ばれた20の非営利団体に支給するための47万ドルが集まりました。バンク・オブ・ハワイ財団が同額を拠出して、合計100万ドルが寄付されました。2013年、同キャンペーンは「リブ・ココア・ギビング・キャンペーン」に名称を変更、現在までにハワイと西太平洋地域で750万ドル超を非営利団体に寄付しています。



2012年

バンク・オブ・ハワイは、ATMの多言語 (日本語、中国語、英語) 機能に**ハワイの言語**を加えました。



liveKōkua
COMMUNITY WALK

沿革

2015年

銀行が無いか少ない地域の人々のニーズの高まりに応えるため、ハワイで最初の100%デジタル当座預金である、**バンク・オブ・ハワイ「EASE」**の販売が開始しました。2021年、当行のペーパーレス・手数料無料の口座が、バンク・オン・ナショナル・アカウント・スタンダードを満たす口座に認定されました。



2018年

バンク・オブ・ハワイのSimpliFiモーゲージは、モバイル機器での**オンライン住宅ローン申請を合理化するデジタル・バンキング・プラットフォーム**を開始しました。それ以降、当行のSimpliFiは、口座開設、住宅購入、予算設定など、お客様がオンラインでその財務状態を管理できる分野を拡大しています。

2020年

バンク・オブ・ハワイは**ハワイ大学の競技プログラムに500万ドル超を投資**しました。UHマノア・アリーナは「スタン・シェリフ・センター SimpliFiアリーナ」に名称を変更、バンク・オブ・ハワイ財団が追加で10万ドルの寄付奨学金基金を設立しました。

バンク・オブ・ハワイ財団は、コロナ禍がハワイにもたらした社会的・経済的影響に対処するために、**ハワイ・コミュニティ財団のハワイ・レジリエンス基金にこれまでにない多額の300万ドルを寄付**しました。



2000年代

2016年

リノベーションされたパールシティ支店が、最新のテクノロジーと高いエネルギー効率を特徴とする初の「**ランチ・オブ・トゥモロー**」になりました。

学士号の取得を目指す行員に授業料全額を無償で提供する**バンク・オブ・ハワイ大学支援プログラム (CAP)**が開始しました。それ以降、16名の行員が同プログラムの資金で学位を取得、当行はCAPの教育費用として行員に170万ドル超を支給しています。



2019年

バンク・オブ・ハワイは、個人から個人への支払い機能、**Zelle**をハワイの銀行で初めてモバイル・バンキング・アプリに組み込みました。



2022年

バンク・オブ・ハワイは**125周年**を祝って、1年間を通して毎週125本の植樹を
実行し、また、行員それぞれがバンク・オブ・ハワイ財団から125ドルの寄付金を受け取ることができる非営利団体を選びました。また、ハワイ文化への感謝と尊重の気持ちを表すため、ハワイ語の子音の1つ、オキナ (ʻ) を銀行のロゴに加えることを発表しました。

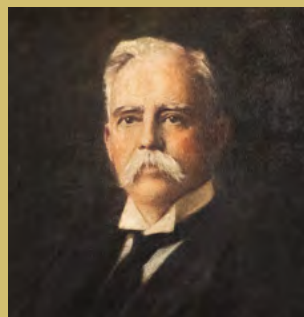


バンク・オブ・ ハワイの 歴代CEO

1897年から現在



1897～98年
PETER CUSHMAN JONES
初代社長



1898～1909年
CHARLES MONTAGUE
COOKE



1909～37年
CLARENCE HYDE COOKE



1937～55年
EDWARD W. CARDEN



1956～61年
RUDOLPH A. PETERSON



1961～62年
JULIAN A. DAVIS



1963～66年
EDWARD A. SCHNEIDER



1966～76年
CLIFTON D. TERRY



1976～80年
WILSON P. CANNON, JR.



1980～89年
FRANK J. MANAUT



1989～94年
HOWARD H. STEPHENSON



1994～2000年
LAWRENCE M. JOHNSON



2000～04年
MICHAEL O'NEILL



2004～10年
ALLAN R. LANDON



2010年～現在
PETER S. HO

より良い明日のために
今日を称える



ワイアナエ・カイ州立森林保護区で開催された当行のコミュニティ・サービス・デイのバンコー・ブルー・クルーに、ハワイアン航空の皆さんが合流しました。

当行の125周年では、多くの行員の長年にわたる献身とチームワークが可能にしたその歴史とマイルストーンをお祝いしました。バンク・オブ・ハワイの物語は今後も続きます。当行は、より良い明日のためにコミュニティのサポートを続けていきます。



当行の新たに設立されたネイティブ・ハワイアンERGは、オアフ島ウィンドワードの非営利団体パエパエ・オ・ヘエアの行事にボランティアとして参加しました。



Sheri Morishigeと Sherry Serranoは、ホノルル・ダウンタウンの行員にランチ・バウチャーを配るのを手伝いました。

Stephanie Xuと ウィメン・インスパイアード ERGはマウナリア湾で外来種の藻類を駆除しました。



行員を称える

当行の行員は、過去125年にわたる当行の成功と成果において鍵となる役割を果たしてきました。今回125周年という節目を迎えるにあたって彼らが果たした必要不可欠な役割を認め、称えるために、行員は125周年の記念品を選び、毎月、銀行史トリビア・クイズ・ゲームの賞品であるギフトカードが配られました。

また、8月の毎金曜日、当行は行員にランチをご馳走しました。オアフ島ホノルル・ダウンタウンとハイル・オ・カポレイの行員はフードトラックを利用、オアフ支店、隣接する諸島、西太平洋地域の行員は特別にケータリングされた食事を味わいました。

より良い明日のために

今日を称える



Mark Tokito (左から2人目)、Erlinda Alegre (右から2人目)、Rowell Comia (左端) は、当行のアロハ・フォー・コミュニティを代表してサルベーション・アーミーに寄付を渡しました。



ハーモン支店のDamarly Dunkleyとその夫、Aricは、グアムの分水地点を保護するために植樹した70人を超えるボランティアの一人でした。

コミュニティを称える

コミュニティへのアロハ

バンク・オブ・ハワイ財団は、当行の各行員に125ドルを受け取ることができる非営利団体を選ぶ機会を与えました。その結果、ハワイと西太平洋地域の非営利団体に合計で21万8,750ドルが寄付されました。当行の行員が選んだ237の非営利団体は、素晴らしいミッションをもつ多岐にわたる組織です。そのうち行員に最も多く選ばれた3団体は、チャイルド&ファミリー・サービス、ラナキラ食事宅配サービス、K9コクアでした。

持続可能性に向けた植樹

環境の保全や気候変動に対する当行の継続的なコミットメントの一環として、当行は、12の非営利団体と提携して6,500本を超える植樹を行いました。2022年を通して毎週125本を超える木を植えたこととなります。それら非営利団体はハワイ州全体、そしてグアム、サイパン、パラウで植樹しており、その中には当行がサービスを提供するハワイのすべてのコミュニティが含まれています。この取り組みは11月5日の植樹の日にピークを迎えました。当日の当行が毎年実施している年次コミュニティ・サービス・デーでは、数百人の当行行員がワイアナエ・カイ州立森林保護区で、ハワイ航空の社員の皆様とともに2,000本のハワイ自生の樹木を植樹しました。当行の植樹支援はこれまで、金額にすると合計で12万6,202ドルに上ります。



当行のボランティアが、サイパンのキリリ・ビーチに植樹するマリアナ諸島ネイチャー・アライアンス (MINA) に参加しました。



125周年のマハロ・モーメント

当行が支援できたことを名誉に思う団体や人々への感謝を表明するため、125周年を通してそのソーシャルメディアに「マハロ・モーメント(感謝の瞬間)」をアップロードしました。アップロードされた125のスナップショットはすべて、日々コミュニティを良くすることで当行を元気づけてくれた個人や非営利団体のものです。

当行が歩んできた125年の歴史については、バンク・オブ・ハワイの業績、マイルストーン、コミュニティ支援の詳細、ならびに当行の「オハナ(家族)」の物語に関する特集ビデオを格納している www.boh.com/125 をご覧ください。



昨年を
振り返り

永続するレガシー を創造

当行の行員がレース・ケエリコロナ中学校を訪問、
第1回SmartMoneyレッスンをパンデミック後
初めて対面で行いました。

信頼を構築

長続きする関係を築くことは、当行のお客様にサービスを提供するための基盤です。現在のようにますますデジタル化する銀行環境においては、当行のお客様が最新のテクノロジー以上のものを必要とすることを私たちは知っています。差し迫った財務上のニーズに応えるだけでなく、それを超えたやり方で彼らにサービスを提供できる体制が、最高のサービスを提供するためには必要不可欠です。当行の目標は、対面、電話、ATM、またはオンラインを問わず、お客様がいつ、どこで、どのように望むかに関係なく、最高のサービスと最も信頼できる商品を常に提供することです。

当行は、お客様との取引すべてを彼らの観点から評価しています。当行は今年、そのすべてのサービス・デリバリー・チャンネル（支店、ウェブサイト、カスタマー・サービス・センター、オンライン、モバイル）の1万6,000人を超えるお客様に対してアンケート調査を実施しました。それらの回答を評価することで、新商品とその提供方法について検討していく予定です。また、それらのフィードバックに基づいて、当行の部門間の連携など、手続きの多くを合理化していく予定です。

新たな顧客体験リーダーを育成

現在および将来のバンク・オブ・ハワイで顧客中心主義を維持するために新たな道を模索する顧客体験（CX）リーダーを育成することは、当行の重要な目標および優先事項の一つです。

2022年初め、当行の顧客体験チームは、行員が所属する部門でお客様の意見を代弁（CXアドボケート）できるようにするために特別なトレーニングとプレゼンテーションを開始しました。CXアドボケートのトレーニングには、デザイン思考、チームが顧客体験を理解し、前提に疑問をもち、革新的なソリューションを創造することを助ける人重視の問題解決アプローチに関する実践的な指導が含まれていました。このCXアドボケート

当行は125周年の年に、以下の賞を受賞しました。

ニューズウィーク誌は「**米国内で最も信頼される会社**」銀行部門でバンク・オブ・ハワイを第3位に選びました。当行は、ハワイ企業で唯一選ばれました。

ホノルル・スターアドバタイザーズ、ハワイ・トリビュン・ヘラルド、ウェスト・ハワイ・トゥデイ、ザ・ガーデン・アイランドすべての読者が、バンク・オブ・ハワイを「**ハワイのベストバンク**」に選びました。

ジュニア・アチーブメントUSAは、2021-22年度**米国内大統領ボランティア・サービス賞銅賞**をバンク・オブ・ハワイに授与しました。

のパイロット・プロジェクトが成功したことから、2023年には銀行のすべての部門に拡大されます。

CX認定コースは銀行の上級リーダーも利用できるようになりました。また、CXトレーニング・カリキュラムは、当行既存の「パスウェイ・トゥ・プロフェッショナル・エクセレンス（PPE）」と「リーダーシップ・デベロップメント・プログラム（LDP）」に統合されました。また、お客様と直接接触しない行員も含めて、お客様第1の考えをさらに強化するために、スキルを磨くeラーニング・モジュールが導入されました。

顧客体験に関するこの新たな取り組みは、行員から好意的に受け止められていると考えています。お客様により良いサービスを提供するために、今後も新たな革新的なソリューションを模索していきたいと考えています。

すべての電話が重要

当行のカスタマー・サービス・センターは常に、お客様に特別なサービスを提供する上で重要な役割を果たしてきました。センターは、お客様向けにパーソナリゼされた安心安全なサービスを素早く提供するだけでなく、どんな問題でも解決のために支援することでお客様に心の平安をもたらしています。

センターは、電話、チャット、ビデオを含む多くの仮想チャンネルを介してお客様とつながっています。センターの待ち時間は2022年、2021年から50%と大幅に短

縮、2022年の平均待ち時間は5分となりました。当行は、仮想チャンネルを通してお客様のアポイントメントを支店間でシームレスに受け、彼らにとって最も都合が良いやり方でサービスを受けることができるようにするために、新たな機能、「バーチャル・リレーションシップ・バンカー」のパイロット・プロジェクトを実施する予定です。

デジタルのイノベーションと成長

モバイル・バンキング・アプリやウェブサイトなど、お客様が銀行業務についてデジタルを選択するようになっていることから、当行は、それらのツールをより単純、より安全、より便利なものにするために投資しています。過去2年間で、当行のデジタル・バンキング月次アクティブ・ユーザーは12%増加しました。

当行ウェブサイトの表示と機能は合理化され、提供商品は拡大、また有益な顧客体験を提供できるようになりました。

SIMPLIFIを介したローンの事前承認

2022年、バンク・オブ・ハワイのオンライン口座開設・申請機能であるSimpliFiのおかげで、お客様は事前に承認されたローンから資金を引き出すことができようになりました。お客様はこのオンライン融資引出機能で、当行の直観的に利用できるインタフェースを使用して電子的に文書に署名し、ローン代わり金を即時その預金口座で受け取ることができます。本商品はお客様の利便を高めた

ことで非常に人気となり、オンラインでの個人向け融資はその後すぐに急増しました。

ZELLEの利用増加

バンク・オブ・ハワイは2019年、Zelle支払いネットワークをハワイのお客様向けアプリに追加、2021年にはグアムとサイパン向けのサービスを開始、ユーザーはその銀行口座から誰の口座へでも直接送金できるようになりました。Zelleは、手数料なしの迅速で安全な取引という便利さから、当初導入以降、指数関数的に利用されるようになり、2022年は前年比45%増加しました。

バンク・バイ・アポイントメント

「バンク・バイ・アポイントメント」は、パンデミックが始まった時に、インプランチでの取引を最大限活用し、お客様が特定の時間と場所でお客様向けにパーソナライズされたサービスを選ぶことができるようにするために始めました。オンライン・システムのおかげで、お客様は広範囲にわたる専門的な銀行サービスについて対面または電話で予約をとることができ、待ち時間はなくなり、当行スタッフは最高のサービス、商品、顧客体験を提供することができます。

本機能は非常に人気となり、昨年以降、利用件数は倍以上に増加、2021年の2万5,000件に対して2022年は6万件を超えました。

ブランチ・オブ・トゥモロー・ネットワークが拡大

バンク・オブ・ハワイの支店は、そのお客様と対面して対話する大事な機会を提供しています。2022年、当行の「ブランチ・オブ・トゥモロー」ネットワークは成長、ハワイ島に2つの支店を新たに開設しました。

最初の新たな支店はワイメア支店で8月8日に開設、2番目はヒロ支店で9月26日に開設されました。いずれの支店もそれぞれの場所で長い歴史を有しており、ヒロ支店は100年超、ワイメア支店は60年超、そのコミュニティで活動していました。

新しい支店はいずれも、プライベート・バンキングについて相談するピリ・ルーム、ATM機能を強化し、24時間365日アクセスできるBankLanaiR®、生体認証の貸金庫など、ブランチ・オブ・トゥモローの最新の機能を備えています。各支店は、その所属するコミュニティを表すシグネチャー・アートピースを設置した芸術的な設計となっています。

コロナ禍後の支援を提供

専門的な融資サポート

当行のオハナ・チームはパンデミックがピークの間、お客様の財務上のニーズに応えるために疲れを知らずに働きました。当行は、コマーシャル・バンキングのお客様に対する返済猶予だけでなく、住宅ローン、ホームエクイティ・クレジットライン、自動車ローン、分割払い融資



当行の新たなヒロ支店は、最新のブランチ・オブ・トゥモローテクノロジーと広く開放的なフロアが特徴です。

について緊急融資プログラムを提供しました。

当行のコンシューマー・コレクションズ、グアム・コレクションズ、モーゲージ・コレクションズ、回収チームは、他の事業部門のチームメンバーとともに、債権放棄や期限延長を活用してお客様を支援し、信用調査機関が出す否定的な評価報告書からお客様を守りました。過去2年間のパンデミック期間中、1万6,500人を

	支店および インスタ型支店	ATM
ハワイ州	47	276
オアフ島	25	185
ハワイ島	8	40
マウイ島	8	29
カウアイ島	4	20
ラナイ島	1	1
モロカイ島	1	1
西太平洋	4	39
グアム	2	27
北マリアナ諸島／サイパン	1	8
パラオ	1	4
合計	51	315

超えるお客様がそれらの特別融資延長プログラムを利用しました。2022年3月には、個人ローンがすべて、もはや必要がなくなったことを理由に、それらの特別プログラムの対象から外れました。

対面での安全

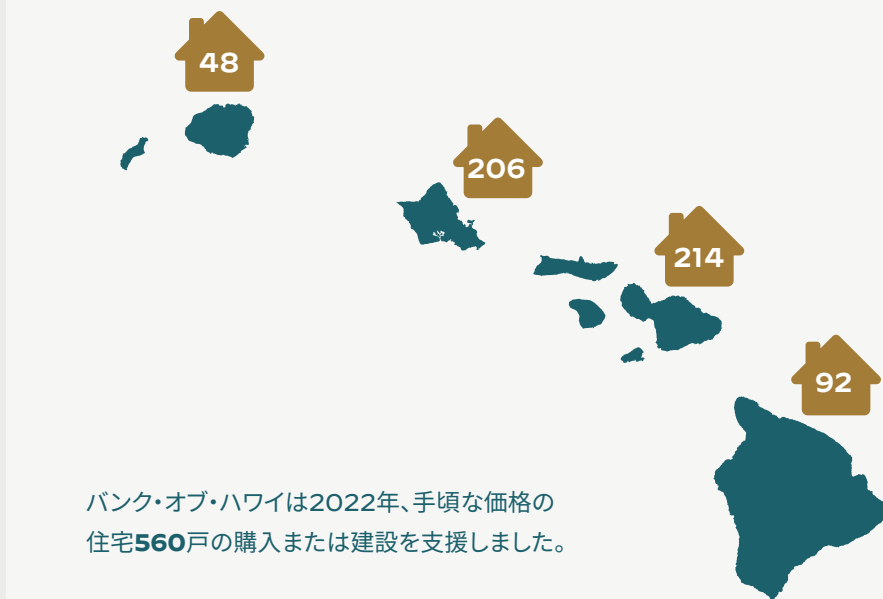
パンデミックのリスクが低下したことから、ハワイの「安全な旅行」規制と、州全体の屋内マスク着用義務は、2022年3月25日に終了しました。バンク・オブ・ハワイは、州のガイドラインに従ってそのマスク着用ガイドラインを緩和しましたが、病気に対して脆弱な行員やお客様の安全のための選択肢として予防措置の一部を残しました。

ハワイの住宅問題に対するソリューション

住宅を所有することは個人にとって重要なマイルストーンです。しかし、ハワイでは手頃な価格の住宅がひどく不足しています。当行は、長年にわたってデベロッパーと協力して、住宅不足の解決に取り組んできました。また、住宅購入希望者（初めての住宅購入者を含みます）が住宅を購入するのを支援してきました。当行がHUD 184Aネイティブ・ハワイアン住宅ローン保証プログラムを導入した2007年以降、当行は、ハワイに拠点を置く、ハワイ先住民保留地局（DHHL）ローンを提供する唯一の融資機関です。

ハワイにおける住宅ローンおよびホームエクイティ・ローンのリーダー

当行は、ハワイの多くの人々が、住宅所有、改良、ローンの借り替えについて当行に相談することを光榮に思っています。タイトル・ギャランティー・ハワイが提供するデータによると、バンク・オブ・ハワイは2022年、ハワイの住宅融資機関第1位に再び選ばれました。



バンク・オブ・ハワイは2022年、手頃な価格の住宅560戸の購入または建設を支援しました。

過去10年間、当行は、

- ハワイ州で実行された住宅ローンおよびリファイナンス・ローン件数で1位、
- 地元銀行による住宅ローン実行額で1位でした。

当行は2022年、ホームエクイティ・クレジットラインを住宅評価なしに40万ドルに増額しました。住宅所有者は、その人生で必要とするかもしれないもの何のためであっても、保有する住宅資産をより容易に活用できるようになりました。お客様はこのプログラムを活用することで、40万ドルのホームエクイティ・ローンを借りるときに第三者による住宅評価費用を最高1,000ドル節約することができるようになりました。

バンク・オブ・ハワイは、SimpliFiのオンライン機能を通して、また当行の住宅ローン担当者の専門知識も活用して、住宅ローンやリファイナンス・ローンの手続きを可能な限り容易にすることで、数千世帯が資産を築く夢を追うのを支援してきました。

手頃な価格の住宅への投資

土地が限られ、建材を輸入する必要があることから、ハワイは貸借人や住宅購入者が払う住宅関連コストが全米で最も高い州の一つです。そのため、地元労働者の一部は家を買う夢を延期または放棄、あるいはハワイを出ていくことさえするような状況です。

バンク・オブ・ハワイは今後も、手頃な価格の住宅を建設するデベロッパーに建設資金や融資を提供することによってコミュニティの様々なニーズに対応、住宅問題の解決に注力していきます。当行は2022年、手頃な価格の住宅560戸（オアフ島で206戸、モウイ島で214戸、ハワイ島で92戸、カウアイ島で48戸）の購入または建設を支援しました。また、1,300戸を超える案件がまだ残っています。

当行は、3つの島での最近の開発プロジェクトなど、ハワイ州全体でより多くの住宅を建設する新たな機会に投資していくことを約束します。



マナアップの共同創設者、Meli Jamesは、地元の企業が成長し、世界に進出するのを支援することを目指しています。

バンク・オブ・ハワイは、非営利のデベロッパー、イカイカ・オハナや都市住宅コミュニティ(UHC)と共同して、マウイ島ラハイナのKai.ulu o Ku.ku'iaプロジェクトを支援しました。同プロジェクトは、200戸で構成されるアパートメント・プロジェクト(25棟の2階建て8家族向け集合住宅)です。マウイ郡の所得中央値の60%以下世帯向けに建設された手頃な価格の勤労者住宅を提供するもので、2ベッドルームが100戸、3ベッドルームが75戸、4ベッドルームが25戸となっています。同プロジェクトで建設されるコミュニティは、手頃な価格の住宅を提供するために貸し出されている州の土地にあり、居住者のコスト節約のために持続可能な省エネを念頭に設計されています。同プロジェクトは2022年7月、建設に着工しました。

バンク・オブ・ハワイは、非営利のデベロッパー、EAHハウジングが退役軍人、生存配偶者、その他の所得適格高齢者向けに92戸の手頃な価格の高齢者向けコミュニティ住宅を開発するのを支援しました。62歳以上で所得が地域所得中央値の30~80%の世帯向けに設計された、ハワイ島のHale N. Koa 'O Hanakahi開発プロジェクトの建設が、

2022年11月に始まりました。同プロジェクトは、退役軍人センターやコミュニティに拠点を置く外来患者クリニックも後日建設される、マスタープランに基づいたフルサービス複合施設の住宅部分です。

当行は、ハワイ州および北マリアナ諸島/サイパン連邦の低所得住宅税額控除(LIHTC)プロジェクトに対してエクイティ投資を提供することもコミットしています。例えば、当行は2022年、マウイ島ラハイナでイカイカ・オハナが実施するKai.ulu o K.ku'ia入手可能住宅開発プロジェクトを支援するLIHTCプロジェクトに2,000万ドル超投資しました。

地元企業の成長を支援

バンク・オブ・ハワイは常に、ハワイの中小企業や、当行が属するコミュニティの中核である企業家に対して安定した支援を提供してきました。当行は、ハワイ企業の長期的な成長と成功を支援するために、マナアップと提携して地元経済の成長および多様化の機会に投資してきました。

マナアップは、ハワイに拠点を置く企業家のためのアクセラレーター・ベンチャーファンドで、彼らが目指すのはリテールおよびEコマース・チャンネルを通して、ハワイの企業家が世界でその市場を拡大するのを支援することです。マナアップはハワイの企業がグローバル企業になり、ハワイ独自の商品を世界に輸出し、ハワイの経済的な機会と雇用を増やすのを支援しています。

また、マナアップとバンク・オブ・ハワイは、地元の企業家が次のレベルにステップアップするのを支援するために、エグゼクティブ・メンターシップ・トレーニング・プログラムを共同で開発しました。毎年実施されるこのプログラムは、マナアップ企業10社に対して、その成長分野に基づいて当行のエグゼクティブ・メンターをマッチングします。同プログラムは、企業家にリーダーシップおよび事業の成熟に関する助言を提供する一方で、エグゼクティブ・メンターにコミュニティ全体に利益をもたらす専門知識を提供する機会を与えるものです。

変化する時代の投資および保険サービス

当行の証券ブローカー・ディーラー子会社であるバンコー・インベストメント・サービスズ・インク(BISI)は、お客様向けにパーソナル化された総合的・競争的な投資・保険ソリューションを提供します。

パンデミック中およびそれ以降、お客様に信頼されているBISIアドバイザーは、引退や医療費、インフレの上昇、市場のボラティリティや下落などについて心配するお客様に対して、教育・個人的サポートを提供することに注力しました。彼らは、お客様と個人的な関係をもっており、パンデミック後の変化の中で、お客様の財務管理についての有益な助言を提供することができます。



私たちの
コミュニティ

コミュニティへの 還元方法を模索

Kanani Ioapoとその夫、Kenは、当行が毎年実施しているコミュニティ・サービス・デイに、数百人のボランティアとともにワイアナエ・カイ州立森林保護区で植樹しました。

125周年の年、バンク・オブ・ハワイは、私たちが生活し、働くコミュニティに対する感謝を表明することを約束しました。当行の2,000人以上の行員はそれぞれ、バンク・オブ・ハワイ財団から125ドルの寄付金を受け取る非営利団体を選ぶ機会を与えられました。



当行のバンコー・ブルー・クルーがYWCAのドレス・フォー・サクセスで寄付を仕分けするのを支援しました。

また、当行は2022年、1週当たり125本の植樹を実施、ハワイと西太平洋地域の環境保護に取り組む非営利団体に寄付しました。それら2つの取り組みだけで、金額にすると合計約34万5,000ドルに上ります。125年を祝ってコミュニティに還元する当行の取り組みの詳細については、本年次報告書の12~15ページに記載されています。

バンク・オブ・ハワイ、その行員、バンク・オブ・ハワイ財団は2022年、コミュニティや慈善活動に約340万ドル寄付しました。

リブ・コクアを通じた行員の奉仕活動

2022年、当行のバンコー・ブルー・クルー（当行の明るい青のシャツを着用）は、コミュニティへの奉仕活動を積極的に行いました。

リブ・コクアのボランティア活動プログラム

以下は、2022年のコミュニティへの奉仕活動イベントの一部です。

ホームレス・シェルター・ランチ：当行のボランティアが再び、インスティテュート・フォー・ヒューマン・サービス (IHS) の居住者のためにランチを作り、提供しました。バンコー・ブルー・クルーはパンデミックの前、同サービスのために一貫してボランティア活動を行っていましたが、IHSが機会を設けたことで再開しました。

YWCAドレス・フォー・サクセス：YWCAが寄付された物品を仕分けするのを、当行のボランティアが支援しました。仕分けされた物品は、刑務所やシェルターからの復帰者、新社会人、職場復帰者などの女性が経済的に自立できるよう支援するための資金を調達するために販売されます。同プログラムは、メンターシップ、職場での衣服、職業訓練も提供します。

グッドウィル・ゴーズGLAM!が、2年間の中断を経て、プレイスデル・エグジジション・ホールに帰ってきました。ボランティアは、グッドウィル・ハワイがその署名募金者とともに仕事を見つけるのが困難な人を支援しました。彼らのコミュニティでの取り組みは毎年、州全体で1万人超を支援しています。



Kayla MatautiaとSheri Lynn Freitasは今年再び、グッドウィル・ゴーズGLAM!でボランティアに参加しました。

2022年リブ・コクア・ギビング・キャンペーン

当行の行員とOBは毎年、リブ・コクア・ギビング・キャンペーンで募金を集めています。第1回のキャンペーンは2010年に実施されました。

今年のキャンペーン、#BankohCaresは10月11日から12月12日まで行われ、アロハ・ユナイテッド・ウェイのパートナー非営利団体を支援するために56万9,717ドルを集めました。行員とOBはこれまで、リブ・コクア・ギビング・キャンペーンを通してハワイと西太平洋地域の非営利団体に750万ドル超を寄付しました。

2020-2024年 ALICEコホートを支援

ハワイの居住者のほぼ半分にとって、その高い生活費が負担になっています。ハワイのALICE (限られた資産、制約された収入、職についている) コホート・イニシアティブは、コミュニティの非常に大きいものの、時に見えなくなっている、基本的な必需品を購入するのにさえ苦勞しているセグメントに関する意識を高める活動を行っています。

ハワイのALICEコホート・イニシアティブは、(連邦政府の貧困ラインを上回るものの、生活に苦勞している) ALICE世帯を財務・社会的により安定した水準に引き上げ、安全で手頃な価格の住宅をより入手しやすくすることに注力しています。

2022-24年ALICEファンドは、ALICEコホート・イニシアティブに投資します。同イニシアティブには、オアフ島のALICE世帯を支援する、影響力が強く、計測可能なプログラムを開発・導入することに共同して取り組んでいる17の非営利団体が含まれています。同投資は、アロハ・ユナイテッド・ウェイ(AUW)と

ハワイのコミュニティ財団によって監督されています。バンク・オブ・ハワイ財団は、3年にわたって2022-24年ALICEファンドを支援する多くの組織の一つです。

ハワイのALICE：2022年の事実および数値

バンク・オブ・ハワイは2018年以降、ALICEハワイ報告書のスポンサーになっています。

2022年、バンク・オブ・ハワイ財団は、『ハワイのALICE：2022年の事実および数値』のスポンサーとして9万7,500ドルの助成金を提供しました。同報告書は2022年12月に公表されました。AUVのウェブサイトですぐに入手可能です。同報告書はハワイ州全体のデータを含んでおり、州および郡レベルで政府が意思決定するための情報を提供しています。

2022年金融経済教育／地域再投資法 (CRA)

中小企業の支援、金融教育の改善、手頃な価格の住宅や高収入の仕事の創

出、ホームレス対策、医療改善のために他の組織と協力することが、CRAに基づいて私たちが社会奉仕活動に参加するにあたって重視する分野です。バンク・オブ・ハワイは、地域再投資法に基づいて高い格付けを受けています。

サイパンのスモールビジネスを支援

2022年は、スモールビジネスおよび活性化・開発補助金「I Kinometi Para I Kumunidat I Isla-ta」が発足して11年目に当たります。サイパンで新たなスモールビジネスを生み出し、既存のスモールビジネスをコミュニティに利益をもたらすプロジェクトを中心に成長させるプロジェクトに対して、バンク・オブ・ハワイ



助成金を受けたDreamPlayは、幼児のための学習・開発ツールを購入するために資金を使用しました。

財団は毎年、最高5,000ドルの助成金を提供しています。

2022年、以下の5プロジェクトが助成金を獲得しました。

- グルメ向きクッキー店が、看板と備品を購入し、ケータリングから実店舗での営業に移行することができました。
- 地元資本のダイビング・ショップが、スキューバダイビングのインストラクターを雇い、住民に割引講習を提供しました。
- 家族所有の衣料品会社が、クイックドライTシャツを含む新たな在庫を購入しました。
- 学齢未満児童向け保育サービスが備品を購入、ティーチングスタッフに最新の教育・保育トレーニングを提供しました。
- 地元資本の外来患者向け血液透析センターが、災害または停電が生じた場合でも透析治療と関連サービスを続けるための機器を購入しました。

非営利団体との提携一覧

バンク・オブ・ハワイ財団

バンク・オブ・ハワイ財団は毎年、コミュニティ内の数百の非営利団体を支援しています。以下は、2022年のバンク・オブ・ハワイ財団による助成金支給およびスポンサーシップの一部です。

放送局PBSハワイのHIKI NŌ

バンク・オブ・ハワイ財団は11年連続で、全米で初めて、また唯一のハワイ州全体をカバーする学生ニュース・プログラムと、デジタルメディア・ラーニング・プログラムに10万ドルを助成しました。

ハワイ・フードバンク

新たなテクノロジーを活用してフードバンクのデータ・トラッキング・システムを改善するために5万ドルが寄付されました。同システムは、フードバンクが連邦政府に、より信頼できる情報を提供し、その食料配布サービスの持続可能性を向上させることに寄与します。

バンク・オブ・ハワイ財団ファミリー・サンデー

パンデミックのために2年間中断していた、ホノルル美術館でのファミリー・サンデーを再開するために10万ドルの資金を提供しました。2004年以降、バンク・オブ・ハワイ財団によるファミリー・サンデーは、毎月第3日曜日に住民が無料で入場することができるようにし、芸術、文化、エンターテイメントに触れ合う機会を提供しています。

ハワイP-20パートナーシップ・フォー・エデュケーション

ハワイ大学財団の大学奨学金に10万ドルが支給されました。

レガシー財団、ホノルル・プライド・パレード&フェスティバル

コミュニティにおける多様性や包摂性を支援する取り組みの一環として、2024年まで毎年、当行のビジョナリー・スポンサーシップを続けるために1万5,000ドル寄付することを約束しました。バンク・オブ・ハワイ財団は過去4年間スポンサーを務めています。

カトリック・チャリティーズ・ハワイ75周年

同団体の75周年を祝って、また彼らの高齢者、移民、精神障がい者、その他必要とする人々向けの複数のサービスに資金を提供するために、5万ドルが寄付されました。

第21回年次ネイティブ・ハワイアン・コンベンション、「フリヒア (Hulihia)」

ハワイ先住民促進委員会のホノルル・コンベンションのために1万ドルが提供されました。1,500人を超えるコミュニティ・メンバーがコンベンションに参加、ハワイでの持続可能性について議論しました。

低所得世帯の税金還付を支援

2010以降毎年、バンク・オブ・ハワイの行員は、グッドウィル・ハワイのボランティア・インカム・タックス・アシスタンス (VITA) プログラムと協力しています。今年、29人のボランティアが2022年確定申告について内国歳入庁 (IRS) に認定され、消費者金融保護局 (CFPB) のタックス・タイム・イニシアティブ・コホートに参加しました。当行のボランティアは95件の納税申告書を作成、結果として12万6,000ドル超がコミュニティに還付されました。今年初めて、当行はハワイの主な4つの島で代理を務めました。

ルース・ケエリコラニ中学校を支援

当行のボランティアは2009年以降、ハワイと西太平洋地域の公立学校にユニークな金融教育の機会を提供しています。

上記のタイトル1学校は、ホノルル・ダウンタウンの中心にあるハワイのルース・ケエリコラニ王女の宮殿跡に建設されており、6年生から8年生の生徒を教育しています。近くには高級なアパートや家もありますが、同校の大多数の生徒は、公的・低価格の住宅団地、あるいは一時的・ホームレスのシェルターに住んでいます。

4月、約50人の当行ボランティアが同校を訪問、23教室で300人の生徒に金融リテラシー月間のSmartMoneyレッスン・デイについて教えました。テーマは楽しさを追求するもので、お金の節約や環境を保護するためのエネルギーの節約の重要性などでした。他の多数の学校でも、春と10月および11月に当行のボランティアによるSmartMoney金融レッスンが開催されました。

私たちは5月のキャリア・デイに再びルース・ケエリコラニ中学校を訪問、銀行で働いた体験について話し、生徒の質問に答えました。

里親制度を経験した若者を支援

HI H.O.P.E.S.イニシアティブ (EPICオハナ、ハワイ、コミュニティ財団、ジム・ケーシー・ヤング・オポチュニティーズ・イニシアティブ、アニー・E・ケーシー財団と提携) は、里親制度を経験したハワイの若者が成功するためのリソースを確保することを支援しています。バンク・オブ・ハワイは2010年以降、HI H.O.P.E.S.を支援しており、個人開発預金口座 (IDA) を継続的に提供、里親制度を経験した後に独立するために苦闘している若者との関係を構築しています。

当行はHI H.O.P.E.S.の開始以降、住宅や教育、車両など高額品の購入のために968のIDAを開設しました。口座の42%が、総額141万ドルに上る適格資産購入のために利用されました。オアフ島で最も多かった適格購入は教育関連 (35%) で、それに住宅関連 (25%) が続きました。近隣の島々では、参加者の44%が移動手段のために資金を使用、24%が住宅のために貯金しました。

バンク・オブ・ハワイの行員は、ハワイ島のヒロヤコナなど、ハワイの4つの主要な島でHI H.O.P.E.S.の顧問も務めています。



Lono Kealohaと他の行員が11月、ワイアナエ高校の11年生に重要な金融リテラシーについて教えました。



私たちの
行員

きずなを築く

Noe Jan Gumbocは5月、バンク・オブ・ハワイの
大学支援プログラムを通して学士号を授与されました。

125年間、バンク・オブ・ハワイの最大の強みは、ひたすら日々お客様を気にかける行員でした。お客様と素晴らしい関係を築き、卓越したサービスを提供するためには、彼らが一丸となって働く以上に強力なものはありません。当行は2022年も、その行員のニーズをより深く理解するための措置を取りました。

重要な給付

2022年初め、バンク・オブ・ハワイは、年間2.5%の昇給と、初めて実施する1回限りの2.5%のインフレ調整手当を発表しました。これは4月1日に実施されました。昇給は、パンデミックがもたらした不透明や困難な状況においてお客様や同僚にサービスを提供する行員の素晴らしい努力に報いるために、またインフレの急速な上昇を埋め合わせるために実施されたものです。

特別な能力給引き上げだけでなく、2022年末には、2023年1月に実施される予定の新たな行員向け給付が発表されました。それらの給付はすべて、行員がより柔軟に活用・選択することができるように設計されていました。給付には、以下が含まれています。

- 有給休暇 (PTO) すべてを一つのカテゴリーに統合しました。以前は、有給休暇は、休暇、移動祝日、誕生日休暇、扶養者休暇に分かれていました。新たな制度のメリットは、有給休暇が現在、より速く発生するようになったことです。
- 新規採用者は、雇用されてすぐに1週間の有給休暇を利用できます。

行員の大学教育費用を支払い

2022年、7名の行員が、バンク・オブ・ハワイ大学支援プログラム (CAP) のおかげで、ホノルルのシャミナード大学から学士号を授与されました。同プログラムは、行員が長期的な教育上の目標を達成するのを、シャミナード大学またはハワイ大学のコミュニティ・カレッジ (UHCC) で準学士号または学士号を取得するための授業料 (および教科書・資料の料金) を全額支払うことによって支援します。

同プログラムは2016年に開始しましたが、当初の参加者は3名でした。現在までに16名の行員が選択した専攻の学位を取得しています。また、30名の行員が2022年秋学期に登録しており、32万4,406ドルが支払われています。同プログラムは、その開始以降、行員の教育費用として170万ドル超を支払っています。



Peter Hoは、当行の大学支援プログラムが費用を負担して、夏に学士号を授与された7名の行員、Tony Syxomphou、Noe Jan Gumboc、Parris Smith、Theresa Neal-Viela、David Lammay、Jonathan Enos、Alex Dugganを称えました。

つながりと包摂性

バンク・オブ・ハワイが職場での包摂性を促進する方法の一つとして、行員リソース・グループ(ERG)を通じたものがあります。それらのグループのおかげで、行員が結びつき、会社を全体として教育する機会が拡大します。行員の多くは家庭よりも職場で長い時間を過ごしており、ERGやコミュニティの支援の取り組みは、行員がお互いに交流し、コミュニティに良い影響を与える機会を提供します。

以下は、2022年にそれらのグループが実行したコミュニティ活動の一部です。

LGBTQ+: 当行のRainBOHボランティアは、2年振りに開催された2022年ホノルル・プライド・パレード&フェスティバルに参加しました。「Live Your Pride(プライドをもって生きろ)」Tシャツやバタフライウィング、虹のアクセサリーを身につけた行員が、ワイキキ・パレードで進行、バタフライファンを配り、フェスティバルに設置された銀行ブースで特別なテンポラリー・タトゥーを入れるサービスを提供しました。

軍隊: 5月のメンタル・ヘルス・アウェアネス月間、ブルーブリゲートは、感情・心の健康の重要性に関する理解を広めるためにストレス管理に関する特別なディスカッションを開催しました。このディスカッションは業務時間外に行われ、すべての当行行員が参加でき、サマリアン・カウンセリング・センター・ハワイから講演者が招かれました。

2021年末、当行のブルーブリゲートは、米国海軍の退役軍人とその家族のためにホノルル・ハビタット・フォー・ヒューマニティのホーム建設を支援しました。2022年8月、当行のブルーブリゲートは、ワイマナロ・ホームが完成し、ヤング家が入居したことをお祝いしました。



当行の「Live Your Happy, Live Your Pride」フロートが、ワイキキで行われたホノルル・プライド・パレードのハイライトでした。

ウィメン・インスパイアード: ハワイの女性の4人に1人が生理の貧困を経験している問題に取り組む非営利活動「マイ・ムーブメント(Ma'i Movement)」が行っている重要な取り組みについて聞いたことから、本ERGは設立されました。バンク・オブ・ハワイが生理用品の詰め合わせを購入、ウィメン・インスパイアードのボランティアが包装を解き、商品を仕分け、用品ボックスに詰めました。ボランティアは、マイ・ムーブメントのために1,960の生理ケア・キットを集めました。

ネイティブ・ハワイアン: 当行で最も新しいERGは、ネイティブ・ハワイアンとその協力者がネイティブ・ハワイアンを代弁することを歓迎し、ハワイの歴史、文化、言語の理解を広げることを支援します。9月のハワイ歴史月間に、40名を超える行員、その友人と家族が、オアフ島ウィンドワード・サイドのヘエイア・フィッシュポンド(養殖地)を保護する非営利団体、

Paepae o He'eiaが開催したボランティアおよびフェローシップの日に参加しました。彼らは外来植物を駆除し、養魚池の壁の一部を修理しました。



ブルーブリゲートはヤング家の住宅建設を支援、8月の彼らの入居日をお祝いしました。新品のキッチンにいるのは、Eddie Guan、Valerie Lam、EnidおよびLloyd Young、Momi Akimseu、Fred Alvaradoです。

チームのダイナミクスを強化

バンク・オブ・ハワイのオハナ(家族)とコラボレーションという特別な文化は重要なもので、当行はテクノロジーやツールに投資して、チームがパンデミック中、特に多くの行員がリモートで働いている時にもつながり続けることができるようにオンライン・フォーラムを設立しました。職場は変わり、当行は一部の行員が新たに利用できるようになったハイブリッドな職場環境を受け入れており、つながりや交流をもち続けるために一つの手法にのみ頼ることはありません。

当行は、管理職が行員とつながりを持ち、交流し、理解しつつ、チームのダイナミクスを強化する新しいソフトウェアの導入を開始しました。新たなツールは、管理職が手助けするワークショップを通してチームをまとめることができるように設計されており、チームに議論や相互に交流する機会を提供します。

行員は、感謝のメッセージ、誕生祝い、記念日のお祝いなどを通して、相互の建設的な関係を奨励する新たな交流アプリも利用しています。



Justin PrestidgeとDavid Pajarilloは、オアフ島ウィンドワードのPaepae o He'eia開会日に、新たに設立されたネイティブ・ハワイアンERGの他のメンバーとともに参加しました。

バンク・オブ・ハワイの行員能力開発プログラム

リーダーシップ開発プログラム

実践的な実際の体験を通してそのビジネス観を高め、スキルセットを伸ばすことを目指す、最近のカレッジ卒業者向けの2年間の加速プログラム

プログラム期間：

2022年7月18日～24年7月17日

成果：初開催の2022年は、財務、融資、情報技術に3名のアソシエートが参加しました。

サマーインターン・プログラム

サマー・インターンは各部と銀行経営部門で8週間を過ごします。

プログラム期間：

2022年6月13日～8月5日

成果：23事業部門で34人のインターンが参加しました。

バンク・アソシエート・プログラム

同プログラムでは、最近のカレッジ卒業者や有望な行員が個人的・専門的に成長するように設計された様々なコースを受講します。

プログラム期間：

2022年7月11日～12月9日

成果：ランチ・バンキングに4名のアソシエートが参加しました。

パスウェイ・トゥ・プロフェッショナル・エクセレンス

参加者は、管理職に指名され、選ばれて、この評価が高いリーダーシップ・プログラムに参加します。

プログラム期間：

2022年7月18日～12月16日

実績：14事業部門の37名の行員が参加しました。

Movers and Shakas

ハワイの企業からの参加者が、文化教育、地域奉仕活動、ネットワークを通して関係を築きます。

プログラム期間：

5月7日～6月23日(第1陣) および
10月1日～11月10日(第2陣)

実績：7名が参加しました

カレッジ・メンターシップ・プログラム

大学生に会社での労働環境、金融業界、バンク・オブ・ハワイに関する知見を提供し、彼らの成長を助けるために専門性開発の機会を提供します。

プログラム期間：

3月7日～4月25日(2022年春季) および
10月3日～11月21日(2022年秋季)

実績 シャミナード大学およびハワイ大学シドラー・クラブ(ビジネス・エグゼクティブ・ソサエティ・フォー・トゥモロー、フィナンシャル・マネジメント・アソシエーション、インフォメーション・テクノロジー・マネジメント・アソシエーション)の15人の学生が参加しました。



2022年パスウェイ・トゥ・プロフェッショナル・エクセレンスの参加者がプログラムの履修完了をお祝いしました。



私たちの
お客様

当行の125年の物語は、今日の当行を形づくった、コミュニティとの無数のつながりで満ちています。当行の125周年を祝って、また彼らとの関係に感謝して、彼らの成功とバンク・オブ・ハワイとの関係の物語をお祝いするために彼らに接触しました。物語には、過去の年次報告書で特集されたお客様が一部含まれています。

「銀行はハワイによく似ています。
ここでは私たちはすべて互いに
気を配っています」 – NIK LOBENDAHN

NIKおよびJENNIFER LOBENDAHN

オーバーイージー、Easy'Que、
オーバーイージーのベーカリーのオーナー

NikとJenniferは、Alan Wongのレストランで働いていた時に出会い、そこで彼らはともに食品への情熱をもつようになりました。彼らは、結婚を意識する前から一緒に事業を始めることを考えるようになりました。彼らは、7年間節約し、計画を立てた後、また家族や友人からの援助もあり、2016年7月に新鮮でユニークなメニューを出すカイルアの朝食レストラン、オーバーイージーを開店しました。彼らその新たなビジネスに全力で取り組み、多大な愛を注ぎ、あらゆる詳細について検討しました。また、Jenniferが彼らの夢のメニューと呼ぶものを前面に押し出しました。2019年には、朝食を出すレストランの道路を挟んだ向かい側にEasy 'Queを開店しました。Easy 'Queは地元スタイルの店で、彼らが「アロハ・バーベキュー」と呼ぶアジアの味を取り入れたバーベキュー・メニューを出しています。

彼らは、その創造的な取り組みにより、コロナ禍でも店を閉めることはありませんでした。オーバーイージーでのテイクアウト導入、家庭向けディナー販売、DIY式の半分調理済みの食事、ペストリー・ボックス等のおかげで、店を開け続けることができました。

彼らは2022年、オーバーイージーとつながったベーカリーを開店しました。ベーカリーは、レストランで焼いた商品や、カスタムメイドのケーキなど他の商品を取り扱っています。レストランを経営するには非常にハードワークが必要ですが、彼らは自分たちの仕事を心底愛していると感じています。彼らは、長年にわたってその事業の成長を支援してきたバンク・オブ・ハワイのチームに感謝しており、次の展開を楽しみにしています。 EASYQUEHI.COM





「私たちのバンク・オブ・ハワイとの
関係を表す3つの言葉があります。
パーソナル化、専門性、パートナ
シップです。そして、それが銀行との
関係のあるべき姿です」 – RAND COON

クーン家

トリロジー・エクスカージョンズのオーナー

トリロジー・エクスカージョンズは、2人の兄弟、Eldon
およびAfton Coonが始めた複数の世代にわたるファミ
リービジネスです。現在では、Eldonの息子のRandと
Jim、それに第3世代である彼らの6人の成人した子供た
ち「いとこコンソーシアム」が一緒に働いています。同社は
2023年に50周年を迎えます。

JimとRandは、自ら建造した50フィートの三胴船で1年
半かけて南太平洋を船で渡った後、ハワイに魅せられて、
マウイ島に定住しました。1973年、彼らは南太平洋クル
ーズによく似た1日の体験を提供することを決めまし
た。親しい友人とのおいしい食事、白い砂浜、美しい海で
のシュノーケリングを前面に打ち出した最高のバケーショ
ンをゲストに提供することです。同社のクルーはハワイの
文化、歴史、植物や動物について教育を受けており、その
マナオ（知見）を共有することが、彼らがゲストに提供す
るホスピタリティの一部です。同社は早くから、環境意識
についてのクルーズ業界標準を設定しており、環境にとつ
て適切なことをする一環としてネットゼロの長期目標に
向かって取り組み続けています。 SAILTRILOGY.COM



Jim Coon, LiAnne (Coon)
Driessen, Rand Coon,
Ginger (Coon) Lucy



「一旦バンク・オブ・ハワイに取引を移したら、よそに行く理由がなくなりました。彼らの銀行業務のレベルは他とは違います」 – MICHAEL ROCK

「まさにハワイの銀行だ」

– CHERYL ROCK

MICHAELおよびCHERYL ROCK

ハワイアン・インストルメント・デザインズ・
コーポレーション(屋号:メレ・ウクレレ)のオーナー

Michaelは、1982年にボストンからマウイに来た後、高所得者向け建築プロジェクトのためにカスタムメイドの家具と螺旋階段の製作を始めました。彼は当時面白半分で、その技術を活用して弦楽器を修理していました。湾岸戦争のためにマウイでの建設プロジェクトが減速した時、彼はウクレレをフルタイムで作りはじめました。ビジネスと財務の経験をもつCherylがもつばら顧客の相手を担当したことから、Michaelは楽器を作ることに集中することができました。1997年にはワイルクに最初の店舗を開きました。

メレ・ウクレレの楽器はすべて彼らの店で設計され、完成します。このビジネスが始まった時、ウクレレは記念品として販売される玩具、あるいは高価なカスタムメイドの楽器と考えられており、その間はありませんでした。そのため、そのギャップを埋めて、特に子供に演奏することを学ばせたい地元の家庭のために、手頃な価格で高品質な楽器を提供することを彼らは目指すようになりました。彼らは、初心者から中級者やプロまで誰にでもふさわしい価格の商品を提供するために、各種商品ラインナップを充実させました。その30年後の現在、ウクレレは誰もが楽しむ楽器となっています。メレ・ウクレレは、その役割を誇りをもって果たし続けます。 MELEUKULELE.COM







Brittany Heyd & Meli James



「バンク・オブ・ハワイについて考えるとしたら、それはまさにハワイだと考えます。お金だけの問題ではありません。私たちはハワイの今後のビジョンを実現するための総合的ミッションを共有しており、このパートナーシップには意味があります」 – BRITTANY HEYD

MELI JAMESとBRITTANY HEYD マナアップの共同創設者

マナアップは、ハワイの企業家を支援することを目的とし、州全体で活動するイニシアティブです。マナアップは、地元特産品を扱う会社向けの、彼らが小売りやEコマース・チャネルを通して成長するのを支援する6カ月アクセラレーター・プログラムを主催しています。マナアップは、年間売上高が1,000万ドルを超える、ハワイの次の製品会社100社を生み出すことを目標に、ハワイに拠点を置く会社が「レベルアップ」し、世界的な企業になるのを支援します。マナアップのビジョンは、地元経済を成功に導き、地元の人々向けに給料が高く、面白い仕事を生み出すことができる、ハワイの経済成長エンジンに燃料を供給することです。バンク・オブ・ハワイは、マナアップの創設者レベルで唯一の銀行パートナーとして、年間アクセラレーター・プログラムを支援しています。また、地元企業家が次のレベルにステップアップするのを支援する、エグゼクティブ向けメンターシップ・トレーニング・プログラムを共同でつくっています。

一対一のメンターシップとその他のサポートにより、マナアップが支援する企業の53%はパンデミックの中、困難な状況にもかかわらずその収益を増加させました。それらの企業家の多くは、その製品の高い質やイノベーションのために国際的に認められています。 MANAUPHAWAII.COM



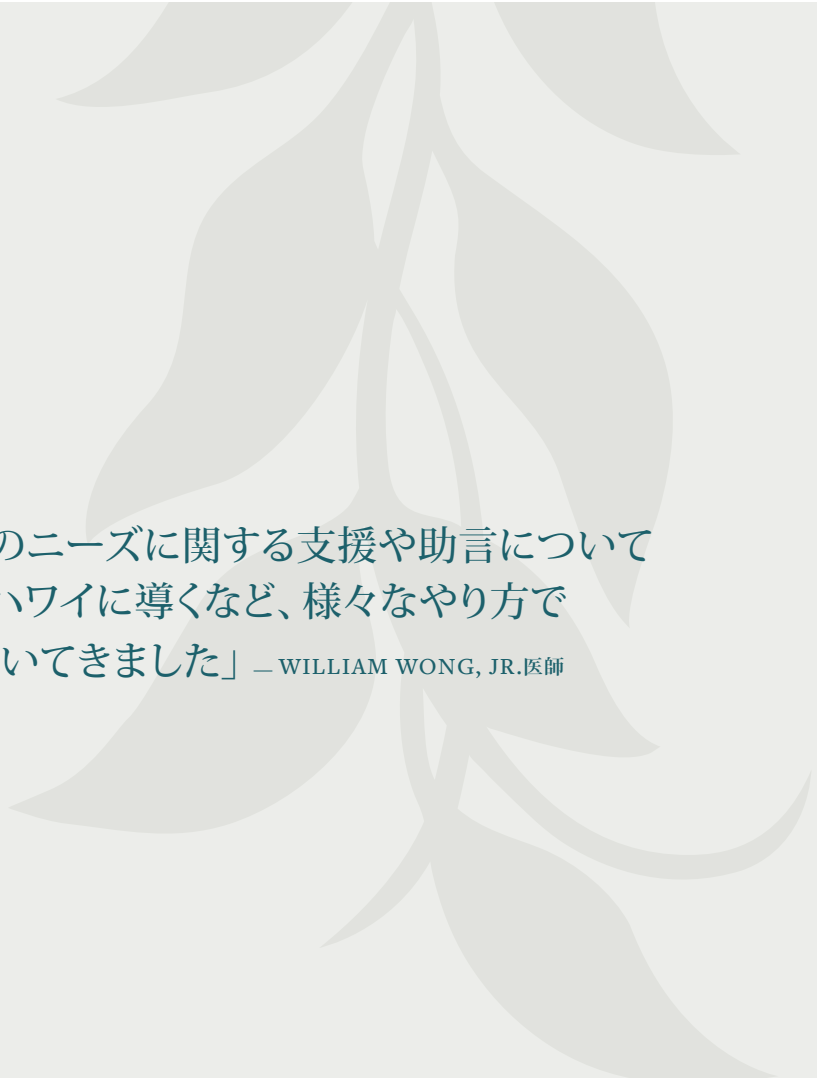
「バンク・オブ・ハワイは、アウトリガー・ホスピタリティ・グループが75年前に設立されて以来、支えてきたパートナーです。私たちはバンク・オブ・ハワイ・チームを評価し、信頼しています」

JEFF WAGONER

アウトリガー・ホスピタリティ・グループの社長兼CEO

アウトリガー・リゾーツ・アンド・ホテルズはビーチリゾート・ビジネスのブランドで、海岸地域でのホスピタリティや、現地のライブ音楽、真のシグニチャー・エクスペリエンス（そこでしか得られない体験）で有名です。2022年に75周年を迎えたアウトリガーは、目的地をハワイからフィジー、モーリシャス、タイ、モルディヴなど最高のビーチリゾートに拡大する発見の旅に出ました。

アウトリガーは、そのホスト、ゲスト、場所を保護する「アウトリガー・ウェイ」により、社会や環境にプラスの影響を及ぼすことに注力しています。このテーマは、アウトリガーのESG（環境、社会、ガバナンス）プラットフォーム全体に組み込まれています。501(3)(c)非営利団体であるアウトリガー-CARES財団は、必要なときに財政的な援助をアウトリガーのホストに提供するための正式なビークルとして2022年に設立されました。同社のグローバル環境保護プログラムであるアウトリガー・ゾーン（OZONE）は、健康的な海を維持し、珊瑚礁を保護することに注力しています。アウトリガーは、同じような考えをもつ非営利団体や、同社自身のコーラル・キッズクラブとの提携を通して、積極的な環境管理者であり、有益な企業市民であり続けることを目指しています。 [OUTRIGGER.COM](https://www.outrigger.com)



「神は、私たちの財務上のニーズに関する支援や助言について私たちがバンク・オブ・ハワイに導くなど、様々なやり方で私たち家族を祝福し、導いてきました」 – WILLIAM WONG, JR. 医師

ウォン家

Rita WongとWilliam Wong, Sr. 博士

Kerri WongとWilliam Wong, Jr. 博士

ウォン家は、医療・不動産の専門家一族で、その事業が成長するにつれ、彼らのバンク・オブ・ハワイとの関係も成長してきました。Rita Wongは米国不動産仲介業者®で、不動産の販売とバケーション客向けの賃貸を専門とするリタ・ウォン・リアリティ・インクを所有する不動産投資家でもあります。彼女は長年、バンク・オブ・ハワイのシニア・リレーションシップ・マネージャーのCori Westonを窓口にしてきました。

皮膚科医であるWilliam Wong, Sr. (医学博士) は、皮膚治療を提供するにあたって総合的なアプローチをとるハワイ・デマトロジー・アンド・サージェリー・インクを所有しています。眼科医であるWilliam Wong, Jr. (医学博士) は、ハワイ・ビジョン・クリニックを所有しています。同クリニックは、成人および子供の各種眼科症状を治療するために高水準の眼科治療とテクノロジーを提供しています。バンク・オブ・ハワイは、彼ら専門家がその事業を築き上げるのを支援しただけでなく、RitとWilliam Wong, Sr. 博士が彼らの孫のために教育基金を設定するのを支援、KerriとWilliam Wong, Jr. 博士のハワイ・ビジョン・クリニック立ち上げや、その家族のための理想の農場建設について助言してきました。 HAWAIIIDERMATOLOGYANDSURGERY.COMおよびHAWAIIIVISIONCLINIC.COM



William Wong, Sr.博士、
Rita Wong、Kerri Wong、
William Wong, Jr.博士



「私たちの事業計画、財務評価、市場分析を見直す専門知識をもつだけでなく、個人銀行取引を助けてくれるサービスがあるバンク・オブ・ハワイの様なパートナーがいて幸せです」

MALCOLM YORKSTON

ハワイアン・レインボウ・ビーズLLCのオーナー

ハワイアン・レインボウ・ビーズは、地元の未加工で健康的な「蜜蜂から瓶へ」ハワイ産蜂蜜を提供しています。同社は家族所有・運営企業で、約1,500の巣箱から蜂蜜を採取しています。彼らの巣箱の多くはハワイ島のマカダミアナッツ農場にあり、他はオアフ島やハワイ島の、コーヒー、バナナ、ココナッツ、マンゴー、アボカドなどを栽培する多角化農業地域にあります。その蜂蜜は、ビッグ・アイランド・ビーキーパーズ・アソシエーションが毎年開催するハワイアン・ナチュラル・ハニー・チャレンジで何度も入賞しており、世界中に輸出されています。彼らのEZ圧搾蜂蜜ポーチはこれまでなかったもので、ハワイの屋外で活動的な生活様式にうってつけのものです。

ハワイアン・レインボウ・ビーズは2011年の創業以来、バンク・オブ・ハワイと取引してきました。Malcolmは、マノア支店の、シニア・マーケット・マネージャーのSummerset Lovettなど、窓口担当マネージャーを定期的に訪ねています。彼らは、同社がその事業用の口座を開設するのを助けてくれました。Malcolmは最近、個人口座の多くをバンク・オブ・ハワイに移しました。RAINBOWBEES.COM



Mykala Tokunaga,
Michael Tokunaga,
Peggy Tokunaga

「賢明で成功した実業家がかつて
『マイケル、君が信頼できる良い取引先を見つけなさい。
とりわけ、君が信頼できる良い銀行と銀行家を!』
と話してくれました。バンク・オブ・ハワイは102年間、
私たちの事業をととても良く助けてくれました」

MICHAEL TOKUNAGA

S. Tokunaga Store, Inc.のオーナー

ハワイ島のヒロにあるS・トクナガ・ストアは、あらゆる種類の釣り、ダイビング、狩猟道具、銃器を提供しています。1920年にSumie Tokunagaが小さな個人経営商店として開業したもので、その後102年間にわたって成長してきました。現在は、母親のEthel Tokunagaから引き継いだTokunaga家の第3世代であるMichael Tokunagaが経営しています。Ethel (Sumieの息子の妻) は、1960年から1991年まで会社を運営しました。同店はいまや、ハワイ島の深海・海岸での釣り道具ではナンバーワン店舗です。また、狩猟、ダイビング、キャンプについてあらゆる道具を提供しています。同社は合わせて75年を超える経験をもつ知識豊富なスタッフを誇り、また、彼らはSumieが提唱した当初からのサービス精神をもち続けています。「お客が望む商品を用意し、最高のサービスをもって手頃な価格で提供しなさい。あなたが接客されることを望むように接客しなさい。お客が快適と感じるようにしなさい」 STOKUNAGASTORE.COM



Cheri Gentry博士、
Norman Gentry(前列)、
Thomas Gentryと
Nicole Gentry

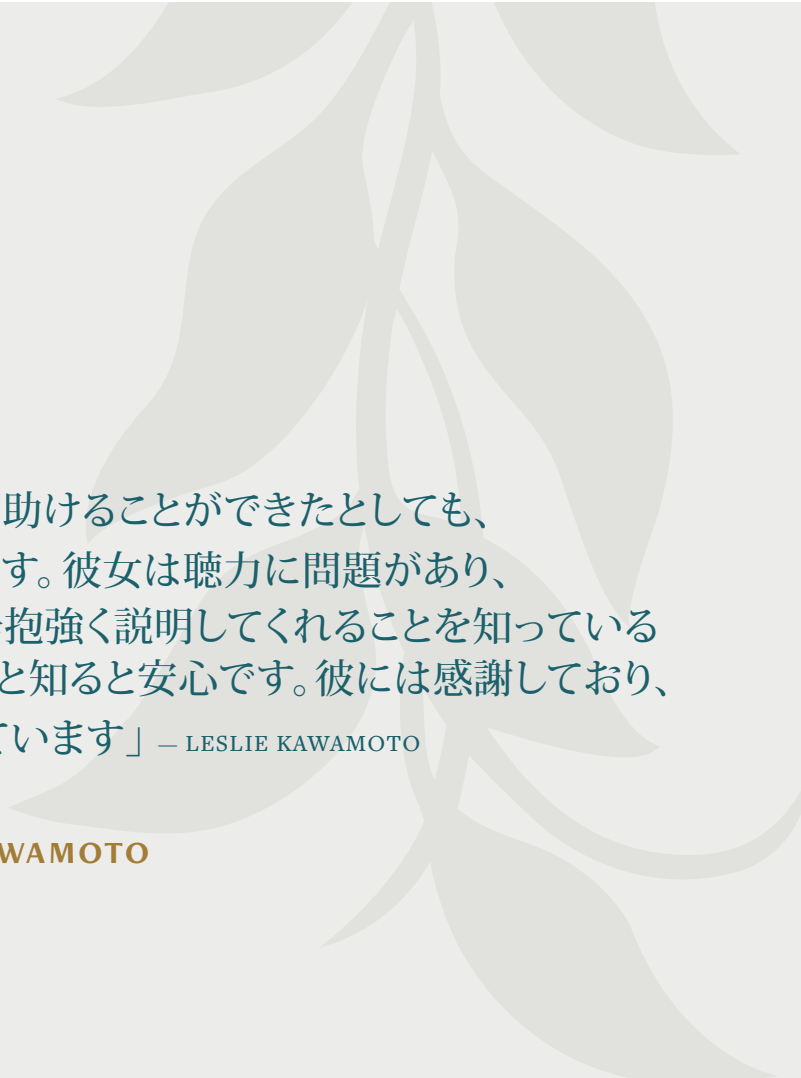
「私たちは、50年を超える期間、ジェントリーに信頼を寄せてくれた数千の住宅オーナーに感謝します。特に、バンク・オブ・ハワイが私たちのビジネスすべてにおいて終始変わらず、忠実かつ信頼できるパートナーとしてそばにいてくれたことに感謝します」

NORMAN GENTRY、CHERI GENTRY博士

ジェントリー・ホームズ・リミテッドの株主

ジェントリー・ホームズは1968年創業の家族所有企業で、50年を超える期間、ハワイで住宅を建設してきました。オアフ島ウィンドワード・サイドのオーシャン・ビュー・エステーツはジェントリーが建設した多くのコミュニティのうち最初のもの（その後、ワイピオとエワが加わりました）です。ジェントリーという名前はいまや、新築住宅の建設においてまさに最高の品質を表すようになっています。現在では、1万4,000超の世帯がジェントリーのコミュニティをホームと呼んでいます。また、ジェントリーは、コナ・マリーナ、ジェントリー・ワイピオ・ビジネス・パーク、ジェントリー・パンフィック・デザイン・センターなど、多数の商業・産業プロジェクトの開発も手掛けています。バンク・オブ・ハワイは、数十年にわたってジェントリーの事業にとって信頼できるパートナーでした。

Norman GentryとCheri Gentry博士は、バンク・オブ・ハワイと協力してジェントリー家第3世代の今後の財政と慈善事業について計画を立てています。 GENTRYHAWAII.COM



「他のどの窓口担当者が助けることができたとしても、母は常にMikeに頼みます。彼女は聴力に問題があり、Mikeが時間をかけて辛抱強く説明してくれることを知っているのです。彼がそばにいと知ると安心です。彼には感謝しており、常に家族の一員と考えています」 – LESLIE KAWAMOTO

JANE LEONGとLESLIE KAWAMOTO

Jane Leongは30年以上前に引退して、現在は、娘と義理の息子、LeslieとEric Kawamotoと一緒に暮らしています。Janeのバンク・オブ・ハワイとの関係は、彼女がサウス・キング・ストリート支店の上階にある事務所で働いていた1950年代終わりに始まりました。彼女はそこで初めて当座預金を開設しました。

Leslieは、アレクサンダー・アンド・ボールドウィンでCEOのアシスタントとして働いています。2012年、彼女は、マノア支店のシニア・リレーションシップ・バンカーのMike Kobashigawaからの電話を受けました。彼は、母親のお金を増やすためにバンク・オブ・ハワイのファイナンシャルプランナーと会うことを提案しました。「それはマイクと私たちの素晴らしい関係の始まりでした」と彼女は言います。「Mikeだけでなく、仕事で、ダウンタウンでバンク・オブ・ハワイの多くの素晴らしい行員と会いました。彼らが電話してきたり、訪ねてくるといつも、そのエネルギーのおかげで私は1日笑顔です」



連結損益計算書

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよびその子会社(1株当たりの額を除き、千ドル)

12月31日終了年度	2022年	2021年
受取利息		
貸出金・リース債権利息および手数料	\$ 439,798	\$ 398,616
投資有価証券収益		
売却可能分	70,555	64,550
満期保有分	81,490	61,955
預金	32	10
ファンド貸出金	4,274	883
その他	1,217	702
受取利息合計	597,366	526,716
支払利息		
預金	39,678	15,216
現先取引売却有価証券	12,600	13,260
ファンド借入金	417	7
短期債務	2,070	-
その他負債	2,043	943
合計支払利息	56,808	29,426
純受取利息	540,558	497,290
貸倒引当金	(7,800)	(50,500)
貸倒引当金控除後純受取利息	548,358	547,790
非利息収入		
信託および資産管理	43,803	46,068
住宅金融バンキング	5,980	14,964
預金口座のサービス料金	29,620	25,564
手数料、為替およびその他のサービス料金	54,914	55,457
投資有価証券収益(損失)(純額)	(6,111)	(1,297)
確定年金および保険	3,782	3,224
銀行保有生命保険	9,968	7,784
その他	15,585	19,589
合計非利息収益	157,541	171,353
非利息経費		
給与および諸給付	235,270	228,293
純賃料	39,441	26,244
純設備費	38,374	35,703
データプロセッシング	18,362	20,297
専門家手数料	14,557	12,895
FDIC保険	6,546	6,536
その他	62,715	63,621
合計非利息経費	415,265	393,589
法人所得税引当額控除前収入	290,634	325,554
法人所得税引当額	64,830	72,182
当期純利益	\$ 225,804	\$ 253,372
優先株式配当	7,877	2,975
普通株主に帰属する当期純利益	\$ 217,927	\$ 250,397
基本1株当たり利益	\$ 5.50	\$ 6.29
希薄化後1株当たり利益	\$ 5.48	\$ 6.25
宣言済み1株当たり配当	\$ 2.80	\$ 2.74
基本加重平均普通株式数	39,601,089	39,837,798
希薄化後加重平均普通株式数	39,788,002	40,053,664

連結財務諸表(独立登録会計事務所の報告書を含みます)については、2022年12月31日年終了年度のForm 10-K有価証券報告書に含まれているバンク・オブ・ハワイ年次報告書をご参照ください。

連結貸借対照表

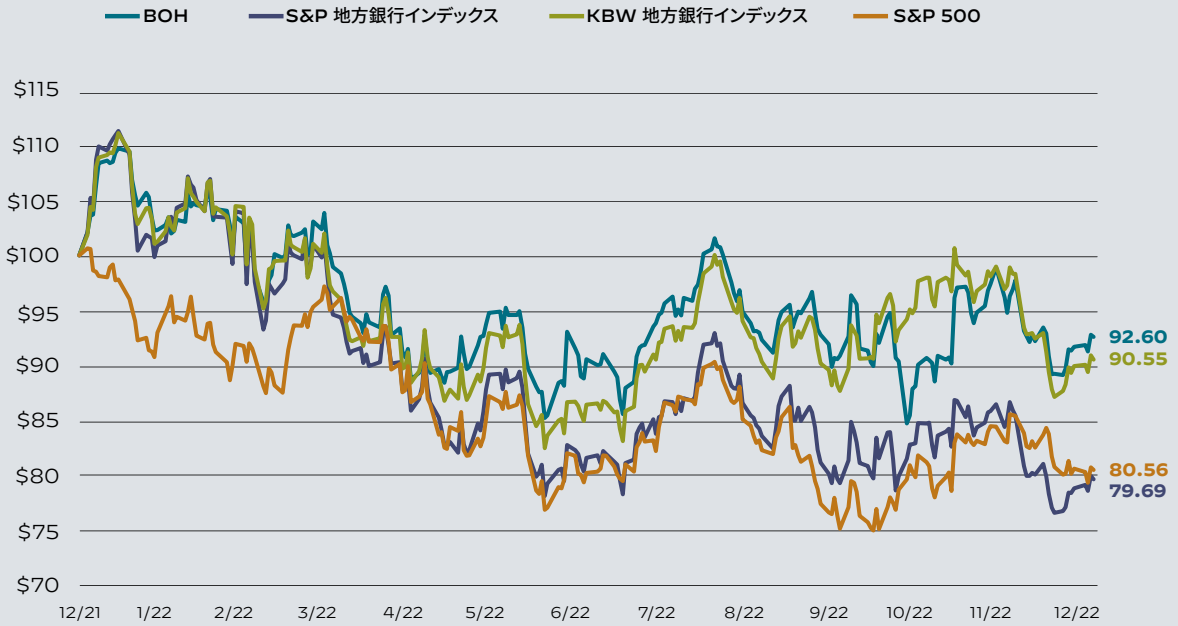
バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよびその子会社(千ドル)

12月31日現在	2022年	2021年
資産の部		
他銀行での利付き預金	\$ 3,724	\$ 2,571
ファンド貸出金	81,364	361,536
投資有価証券		
売却可能有価証券	2,844,823	4,279,056
満期保有目的有価証券(評価額:4,615,393ドルおよび4,646,619ドル)	5,414,139	4,694,780
売却目的貸出金	1,035	26,746
貸出金およびリース債権	13,646,420	12,259,076
貸倒引当金	(144,439))	(157,821))
貸出金とリース債権(純額)	13,501,981	12,101,255
収益資産合計	21,847,066	21,462,944
現金および預け金	316,679	196,327
動産・不動産(純額)	206,777	199,393
オペレーティングリース使用权資産	92,307	95,621
未收受取利息	61,002	45,242
担保権実行不動産	1,040	2,332
モーゲージサービス権	22,619	22,251
営業権	31,517	31,517
銀行保有生命保険	453,882	344,587
その他資産	573,988	384,727
資産合計	\$ 23,606,877	\$ 22,784,941
負債の部		
預金		
非利付き預金	\$ 6,714,982	\$ 7,275,287
利付き預金	4,232,567	4,628,567
貯蓄	7,962,410	7,456,165
定期	1,705,737	1,000,089
預金合計	20,615,696	20,360,108
買戻条件付売却有価証券	725,490	450,490
その他負債	410,294	10,391
オペレーティングリース債務	100,526	103,210
未払退職給付	26,991	38,494
未払利息	9,698	2,499
未払法人税	7,104	11,901
その他負債	394,083	196,237
負債合計	22,289,882	21,173,330
株主資本		
優先株式(額面0.01ドル、授権株式数 180,000株、 発行済/残高:2022年12月31日および2021年12月31日時点 - 180,000株)	180,000	180,000
普通株式(額面0.01ドル、授権株式数 500,000,000株、 発行済/残高:2020年12月31日時点 - 58,733,625株 / 39,835,750株、 2021年12月31日時点 - 58,554,669株 / 40,253,193株)	582	581
資本剰余金	620,578	602,508
累積その他包括的損失	(434,658))	(66,382))
利益剰余金	2,055,912	1,950,375
自己株式の原価(株数:2022年12月31日時点 - 18,897,875株、 2021年12月31日時点 - 18,301,476株)	(1,105,419))	(1,055,471))
株主資本合計	1,316,995	1,611,611
負債及び株主資本合計	\$ 23,606,877	\$ 22,784,941

連結財務諸表(独立登録会計事務所の報告書を含みます)については、2022年12月31日年終了年度のForm 10-K有価証券報告書に含まれている
バンク・オブ・ハワイ年次報告書をご参照ください。

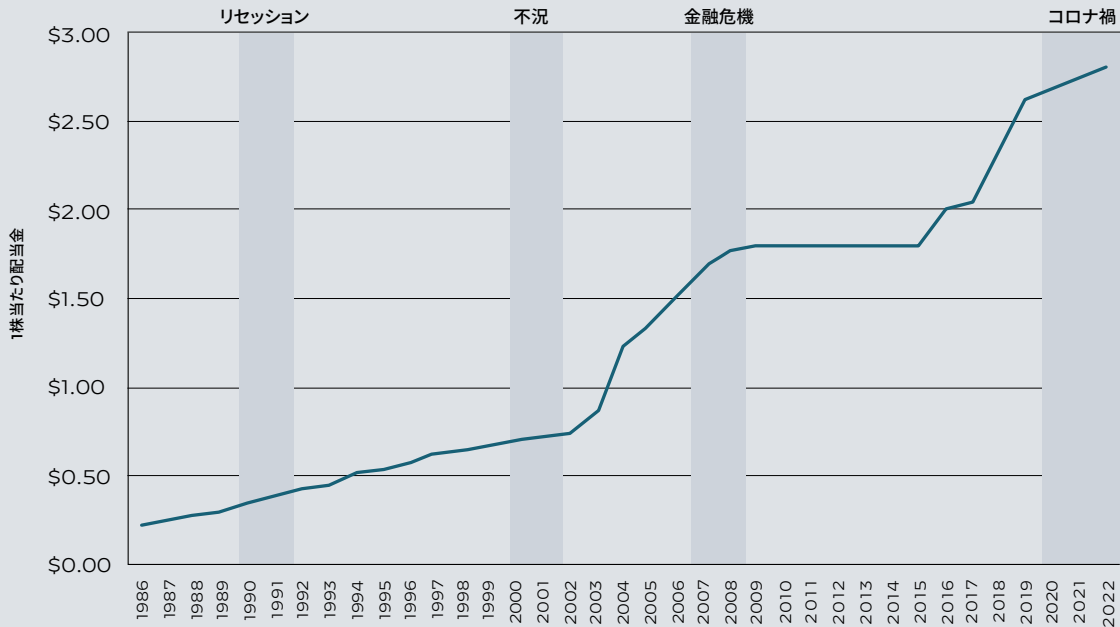
株価の相対的パフォーマンス

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション／バンク・オブ・ハワイ (2022年12月31日現在)



継続的な配当金の支払い

(バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション)



注記: 株式分割のために調整された過去の配当



表紙で表されている力強く、しかし優雅でパワフルなイメージは、有名な建築彫刻家であるリー・ローリーによってデザインされたブロンズ製浅浮き彫り飾り額のもので、『カヌー・ビルダーズ』は、1927年に竣工したバンク・オブ・ハワイの新ホノルル本社ビルのために製作されました。

この記念額では、カヌーを作るネイティブ・ハワイアンが描かれています。これはビルのために製作を依頼された6作品のうちの一つです。それらの作品はそれぞれハワイの固有の美しさについて慎重に考え、考慮されたうえでデザインされています。ローリーのもう一つの作品は網を投げるネイティブ・ハワイアンを描いています。他の4作品は、アーティストのトーマス・ミュラーによってデザインされたもので、古代と現代の交通手段と生活を描いています。

そのイメージは今日でも共感できるものです。6つの飾り額はすべて数十年にわたって保存されています。それらは現在も、ホノルル・ダウンタウンの当行メイン・ブランチに展示されています。

エグゼクティブコミッティ

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよびバンク・オブ・ハワイ

2022年12月31日現在



左から Mary E. Sellers、Peter S. Ho、James C. Polk、Dean Y. Shigemura



左から：Marco A. Abbruzzese、Susan L. Ing、Matthew K.M. Emerson、Ruth L. Erickson

バンク・オブ・ハワイのエグゼクティブコミッティは銀行の主要部門を担当しており、その全体的な戦略と業績について説明責任を負います。

Peter S. Ho
会長、社長兼
最高経営責任者

Marco A. Abbruzzese
副会長
ウェルスマネジメント

Sharon M. Crofts
副会長
顧客ソリューション・グループ

Matthew K.M. Emerson
副会長
リテール融資、預金、デジタル・バンキング

James C. Polk
副会長兼最高バンキング責任者

Mary E. Sellers
副会長兼最高リスク責任者

Dean Y. Shigemura
副会長兼最高財務責任者

Ruth L. Erickson
シニア・エグゼクティブ・バイスプレジデント
Eコマースおよびダイヤモンド・センター

Susan L. Ing
シニア・エグゼクティブ・バイスプレジデント
兼最高マーケティング責任者



左から Sharon M. Crofts、Patrick M. McGuirk、
Taryn L. Salmon、Sharlene R. Ginoza-Lee

Patrick M. McGuirk
シニア・エグゼクティブ・バイスプレジデント
最高法務顧問兼事務長

Taryn L. Salmon
シニア・エグゼクティブ・バイスプレジデント
兼最高情報責任者

Sharlene R. Ginoza-Lee
エグゼクティブ・バイスプレジデント
最高人事責任者

オペレーティングコミッティ

バンク・オブ・ハワイのオペレーティングコミッティは、各事業セグメントの企業スタッフ部門を代表する19名のリーダーで構成され、銀行の日々の業務を担当しています。

Eric Chen
シニア・バイスプレジデント
兼エンタープライズ・オペレー
ション・シニア・ディレクター

Guy C. Churchill
シニア・エグゼクティブ・バイス
プレジデント、コマーシャル・
バンキング・グループ共同責任者

Ryan Field
エグゼクティブ・バイスプレジデント
兼最高情報セキュリティ責任者

Jill F.S. Higa
シニア・エグゼクティブ・バイス
プレジデント、支店銀行業務

Torrie M. Inouye
エグゼクティブ・バイスプレジデント
兼最高データ責任者

Vance H. Jones
エグゼクティブ・バイスプレジデント
兼最高テクノロジー責任者

Roger J. Khlopin
エグゼクティブ・バイスプレジデント
兼最高投資責任者

Edward C.S. Kim
エグゼクティブ・バイスプレジデント
個人向け融資業務

Jennifer Lam
シニア・エグゼクティブ・バイス
プレジデント兼財務部長

Kimarie Matthews
エグゼクティブ・バイスプレジデント
クライアントサービス

James K.M. Moniz
エグゼクティブ・バイスプレジデント
不動産担保貸付業務

Lacey Nakaguma
エグゼクティブ・バイスプレジデント
兼最高監査エグゼクティブ

Craig A. Norris
シニア・エグゼクティブ・バイス
プレジデント兼最高クレジット
責任者

Amy Peckinpaugh
シニア・バイスプレジデント
兼モダン・ワークプレイス・
ソリューション・ディレクター

Kristine R. Stebbins
エグゼクティブ・バイスプレジデント
兼最高エクスペリエンス責任者

Dana S. Takushi
シニア・エグゼクティブ・バイス
プレジデント兼プライベート
バンク・シニア・エグゼクティブ・
ディレクター

Melissa A. Torres-Laing
シニア・バイスプレジデント
兼コーポレート・コミュニケー
ション・ディレクター

Luke W.T. Yeh
シニア・エグゼクティブ・
バイスプレジデント
エンタープライズ・クレジット・
リスク・アナリティクス

Dirk K. Yoshizawa
シニア・エグゼクティブ・
バイスプレジデント、
コマーシャル・バンキング・
グループ共同責任者

取締役会

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよびバンク・オブ・ハワイ

2022年12月31日 現在



取締役会、前列左から Raymond P. Vara, Barbara J. Tanabe, Peter S. Ho, S. Haunani Apoliona, Kent T. Lucien
後列左から: Michelle E. Hulst, Mark A. Burak, Elliot K. Mills, Victor K. Nichols, Robert W. Wo, Alicia E. Moy, John C. Erickson,
Dana M. Tokioka, Joshua D. Feldman

Peter S. Ho

会長、社長兼最高経営責任者、
バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション
およびバンク・オブ・ハワイ

Raymond P. Vara

バンク・オブ・ハワイ・リード独立取締役
社長兼最高経営責任者、
ハワイ・パンフィック・ヘルス

S. Haunani Apoliona

元理事、ハワイ人問題事務局

Mark A. Burak

元エグゼクティブ・バイスプレジデント、
バンク・オブ・アメリカ

John C. Erickson

元副会長、ユニオンバンク

Joshua D. Feldman

社長兼最高経営責任者、トリ・リチャード・
リミテッド

Michelle E. Hulst

元EVP兼最高オペレーティング責任者、
ザ・トレード・デスク

Kent T. Lucien

元副会長兼最高戦略責任者、
バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよび
バンク・オブ・ハワイ

Elliot K. Mills

副社長、
ディズニーランド・リゾート・アンド・アウラニ、
ア・ディズニー・リゾート・アンド・スパ

Alicia E. Moy

社長兼最高経営責任者、
ハワイ・ガス

Victor K. Nichols

元会長兼最高経営責任者、
ハーランド・クラーク・ホールディングス

Barbara J. Tanabe

プリンシパル/オーナー、
ホアケア・コミュニケーションズLLC

Dana M. Tokioka

バイスプレジデント、
アトラス・インシュアランス・エージェンシー・
インク

Robert W. Wo

オーナー兼取締役、
C.S.ウー・アンド・サンズ・リミテッド

株主情報

将来の見通しに関する記述

本報告書には、当社がサービスを提供する分野およびその他の分野における経済環境および事業環境、将来の期間における信用力およびその他の財務上および事業上の事項に関する将来の見通しに関する記述が記載されています。将来の見通しに関する記述は様々な仮定に基づいています。その一部は正確ではない可能性があり、様々なリスクや不確実性のために、実際の結果は見通しと大きく異なるものとなる場合があります。そのようなリスクや不確実性には、以下のものが含まれます（それらに限定されません）。(1) 米国内外または地元の経済状況が予想とは異なるものとなり、特にハワイの観光業に悪影響を及ぼす可能性、(2) 米国内外の証券市場、公債市場、その他資本市場の予期しない変化、(3) 金融サービス・商品市場での競争圧力、(4) 法・規制上の措置、特に2010年ドッド=フランク・ウォール街改革・消費者保護法（「ドッド・フランク法」）の影響、(5) 当社が活動する市場における金融・財政政策の変更、(6) バーゼル銀行監督委員会および米国規制当局が採択した要件に基づき十分な流動性および資本を維持するためのコストの増加、またはそれを実行する当社の能力、(7) 当社の評判を損なうおそれのある行為またはその疑い、(8) 会計基準の変更、(9) 税法・規制またはその解釈の変更、(10) 当行貸倒引当金の必要水準を増減させる当社の信用力およびリスクプロファイル、(11) 信用市場および当社の純利ざやを確保する能力に影響を及ぼす可能性がある市場金利の変化、(12) 費用、経費、和解金、判決など、当社に対する訴訟および当局による調査の影響、(13) 当社の業務システム、情報システム、インフラ、または業者、第三者ベンダー、その他サービスプロバイダーの障害または不履行、(14) 顧客口座管理、総勘定元帳処理、貸付・預金システムの障害または混乱を引き起こす当行情報システム・セキュリティの遮断または違反、(15) 公表済み普通株式自社株買いの金額およびタイミングの変更、(16) 天災、社会的動揺、悪天候、公衆衛生、その他当社およびその顧客の業務に影響を及ぼす状況。投資家は、これらのリスクと不確実性を考慮したうえで、将来の見通しに関する記述を実際の結果の予測として過度に信頼すべきではありません。実際の結果や出来事を将来の見通しに関する記述と大きく異なるものにする可能性があるこれらのリスクや不確実性の詳細については、2022年12月31日終了年度のForm 10-K年次報告書、およびそれ以降米国証券取引委員会に提出された報告書に記載されているリスク要因をご参照ください。「思う」、「予想する」、「期待する」、「意図する」、「目標とする」などの表現は、将来の見通しに関する記述を特定することを目的としていますが、そのような記述を特定する排他的手段ではありません。当社では、将来の事象や状況について表すため、将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

上記の理由により、いかなる将来の見通しに関する記述にも依拠しないようご注意ください。このような要因の一覧が、当社の現在の予想または信念を変化させ得るリスク、不確実性、または潜在的に不正確な仮定をすべて網羅しているとは見なすべきではありません。さらに、いかなる将来の見通しに関する記述も作成日時点のものに過ぎず、当社は連邦証券法上要請される場合を除き、記述作成日以降の事象や状況を反映し、または予期せぬ事象の発生を反映して将来の見通しに関する記述を更新または修正する義務を負いません。

本社

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション
130 Merchant Street
Honolulu, Hawaii 96813

年次総会

株主年次総会が2023年4月28日（金）午前8時30分（ハワイ標準時間）に開催されます。オンライン年次総会へのアクセス情報は、当社の2023年委任状フォームに記載されています。

名義書換代理人および登録代理人

Computershare Investor Services, LLC
150 Royall Street, Suite 101, Canton, MA 02021

ニューヨーク証券取引所で上場されている普通株式：BOH

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションの普通株式は、ニューヨーク証券取引所（ティッカー：BOH）に上場・取引されています。また、主な金融ニュースでは、通常「バンク・オブ・ハワイ」と呼ばれています。

配当再投資および株式購入制度（DRP）

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションのDRPでは、既存株主は、株式の配当金を再投資する、または任意の現金支払いにより当社株式の普通株式を購入することができます。

- 個人がDRPに参加するためには、最低1株の株式を保有する必要があります。
- 株式は、購入日を最終日とする5取引日の平均に基づいて各月の10営業日目に購入されます。
- 株式購入の最低支払金額は25ドル、最高金額は四半期当たり5,000ドルです。
- 株式の購入および株券の保護預かりについて、手数料は発生しません。手数料はDRPの株式の売却により評価されます。

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションのDRPに関する詳細は、www.boh.com、またはComputershare Investor Services LLCに電話（1-888-660-5443）することで入手できます。

問い合わせ

株式譲渡サービス、保有または配当金の再投資に関してご質問がある株主は、Computershare Investor Services LLCに電話（1-888-660-5443）でお問い合わせください。受付時間は、米国中部標準時午前7時から午後5時までです。

財務情報についての質問がある投資家およびアナリストは、Jennifer Lam（インベスターズリレーションズ・マネージャー、電話：1-808-694-8007）にお問い合わせください。

一般的なお問い合わせについては、

電話（1-888-643-3888）またはwww.boh.comにお問い合わせください。



バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション

P.O. BOX 2900

HONOLULU, HAWAII 96846

((○)) 125周年：私たちの物語

当行の会長、お客様、コミュニティ、行員についての
特集動画を含むバンク・オブ・ハワイの2022年
年次報告書デジタルサマリーをご覧ください。
www.boh.com/annual-reportをご覧ください
けます。